

三重大学広報誌

三重大 えっくす X

vol.39
2017 WINTER

M I E U N I V E R S I T Y X

FREE PAPER



ホットニュース

三重大大学の学生支援 来たれ!三重大大学へ! Part2

特集

おもしろ研究・先生XV

特集

共同研究の紹介

速報

文部科学省等支援プログラム

気になるNEWS

スポット/クラブ・サークル

本の紹介

表彰

お知らせ

歴史街道シリーズ

 →  三重大大学ホームページからアイコンをクリック!
 → 「@MieUniversity」で検索! 
 → 「mieuniversityweb」と検索! 

三重大大学の学生支援

特集 あなたの学生生活サポートします!

大学生活にはチャレンジがいっぱい!
今回は、そんな大学生活をサポートするあれこれを紹介しします。

大学による学生支援

◎学生なんでも相談室

<http://www.mie-u.ac.jp/life/consultation/index.html>



学生生活を送る上で困ったことや分からないことが起きた時に気軽に相談できる場所です。相談内容は本当に何でもOKですが、友達や先生との関係、研究室・サークル等での人間関係にまつわる相談が多く、電話やメールも含めて年間1000件ほどの相談が寄せられます。

まずは受付を担当するインテーカーが相談内容を聞き、継続相談としてカウンセラーが対応するか、解決できる他の窓口を紹介するか検討します。学生支援チームや各学部、保健管理センターとも連携して問題の解決を図り、必要な場合は県や市等の学外の窓口を紹介することもあります。



ゆっくり話をしながら、一緒に解決方法を考えます。

◎新入生へのメッセージ

学生なんでも相談室長 鈴木 英一郎 講師

大学生活では、良いことも悪いこともいろいろあると思います。いろんな人と関わって、今自分が見えている世界だけが世界のサイズではないと言うことを知っていきましょう。もし、人と関わるのが苦手でも、自分なりの世界を広げる方法を探してほしいと思います。なんでも相談室では、こんなことで...と思うような小さなことでも、誰に聞いたらいいかわからないことでも、本当に「なんでも」相談を受付けています。困ったことがあれば、いつでも気軽に来てくださいね。



学生支援
チームに行けば
わかるよ!!



◎奨学金

日本学生支援機構をはじめ、地方公共団体や民間団体等の奨学金の募集も行っています。それぞれに選考基準があり、本人の申請が必要です。募集時期は4~5月に集中しています。

◎課外活動

三重大大学には、体育系クラブ・サークル72団体、文化系クラブ70団体(平成29年8月17日現在)があり、全学生の約75%が参加しています。希望の活動団体がない場合には、会員3名と顧問教員がいれば自分で団体を立ち上げることもできます。



今回は
ギターマンドリン
クラブと
表千家茶道部を紹介!
18ページを
見てね!

この他に
環境ISO学生委員会、
大学祭実行委員会等の
委員会もあるよ!



◎障がい学生支援

障がい学生支援室

<http://www.mie-u.ac.jp/life/supportstudents/index.html>



障がいや病気が理由で学生生活に困難を感じる学生の相談を受付けています。一人一人と面談して、どのような配慮が必要かを話し合い、それぞれの学生が所属する学部において、配慮や支援を受けられるよう調整していきます。

学生の直接来談のほか、保護者からの電話相談も多く寄せられます。また、入学手続き時に提出できる相談申込書による申請も多く受付けています。

その他、教職員の障がいに関する理解を深めるための啓発活動も行っています。

また、学生なんでも相談室やキャリア支援センター、保健管理センター等、学内組織や外部とも連携しながら、サポートを行っています。



◎新入生へのメッセージ

森 浩平 講師

障がいや病気で困っていること、少しでも心配なことがあれば、障がい学生支援室へお気軽にご連絡ください。

入学時だけでなく、グループワークや実習、ゼミ配属、就職活動等、学生生活の各時期において生まれる困りごとにも対応と一緒に考えていきます。

◎学生寮 寮生インタビュー

◎安濃津寮(男子寮)

収容現員/98名
(平成29年12月現在)

部屋の間取りは8畳ほどで、ベッドと机が備え付けです。キッチンや洗面所、お風呂等は共有です。

恒例になっている交流イベントもあり、人間同士の距離が近いので、一人暮らしより友達ができやすいと思います。人というのが好きなのは身近に友達がいるから楽しいと思います。

寮長及び副寮長等が寮の運営を担い、寮生全体が楽しめるイベントの企画や寮費の使い道も決定していきます。また、全体会議の寮生大会が年4回あります。

共同生活なので守らなければならないルールや掃除等の当番もありますが、良いところはなんといっても家賃が安いこと。光熱費が寮費に含まれているのもありがたいです。



◎学生による学生支援

学生も同じ立場から様々なサポート行っています。助けてもらうだけでなく、もしかするとあなたも誰かの力になれるかも…!

◎障がい学生サポーター



障がい学生サポーターは平成29年10月から本格的に始動したばかりのまだ新しい団体です。現在は実際に学内を見て回り、スロープやトイレなど使用者が求めている情報をまとめた学内のバリアフリーマップを作成中です。メンバーは、障がい者への接し方を常識として知っておきたい、現場でどんな配慮がもめられるのか学びたい等、それぞれの理由を持って活動に参加しています。

今後は学内で障がいへの理解を深めるための勉強会や障がいのある方との交流会を開催したり、ノートテイク等の技術を習得して障がい学生の学生生活を助ける活動をしていきたいと考えています。ほとんどゼロから手探りで活動ですが、これからどんどん活動範囲を広げていきたいです。

◎清和寮(女子寮)

収容現員/60名
(平成29年12月現在)

個室にはベッド、机、棚、冷蔵庫があって6畳ほど。キッチンや洗面所、お風呂等は共用です。

寮内には10人ごとのブロックがあり、週に1回会議をするほか、備品購入や全体の掃除当番等を取りまとめる委員会があります。また、半年に一度、改善したいことを話し合う寮生大会という全体会議もあります。

何より嬉しいのは家賃が安いこと、大学に近いこと。近くの部屋の人や同じ学科の人とは仲良くなりやすいです。門限もないので結構自由です。

寮生同士の距離感も本当に人それぞれですが、自分で程よい距離を決めていけます。

オートロックや防犯カメラもあるので、一人暮らしよりは安全だと思います。誰もいない日はないので、いざという時絶対一人じゃないという安心感があります。



◎碧海寮(国際女子寮)

収容現員/74名
(平成29年12月現在)

個室の大きさは8畳くらいで清和寮より少し広い印象です。各部屋にユニットバスつきで、ベッド、机、棚、ロッカー、冷蔵庫があります。

各階ごとに月に1回ブロック会議で連絡事項を共有し、会議後は全員で寮内の掃除を行います。会議で顔を合わせるのが月1回のみなので、清和寮より寮生同士の交流の機会には少ないかもしれませんが、寮生同士の距離感が人それぞれなのは同じです。

清和寮との違いは、なんと言っても留学生がいること。留学生と自然に交流できるのは刺激が貰えて、貴重だと思います。碧海寮独自の役割として留学生担当があります。留学生担当は、会議や消防訓練などの際に、日本語があまり話せない留学生に対して通訳やサポートを行っています。

共同生活なので、ルールがあり、共用部分の使用には気を遣います。あとは、人が多いの時には騒がしいときも...。ただ、常に誰かいるので寂しくないし、防犯上も安全だと思います。風邪をひいてしまったときなど、助けてもらえるのもいいところかもしれません。



◎ピアサポーター学生委員会



ピアサポーターの「ピア」は「仲間」を意味しています。仲間として解決方法を一緒に考えるという考えのもとで、学生へのサポートを幅広く行っています。

代表的なものは学期始めの履修相談。通常は総合研究棟3Fピアサポートルームで行っていますが、今年4月には新入生向けに別途ブースを設けて行いました。一緒に履修を考えるほか、教養科目なら実際に講義を受けた人から話を聞くこともできます。

また、学内資格である「キャリア・ピアサポーター」の取得を推進しています。上級資格取得者は、教養教育や学生総合支援センターにおけるSA(Student Assistant)として授業補助等を行うことができます。

定期的に他大学のピアサポーター学生委員会や社会人団体との交流も行っています。多くの人と関わり視野が広がったと思います。今後イベント開催を増やすなどして、学内での認知度を高めていきたいです。

◎留学生支援

RAF(Resident Assistant for Foreigners)

留学生寮のシェアルームリーダーとして留学生をサポート



生物資源学研究所
博士前期課程 2年
寺田 真衣

市役所での手続きを助けたり、日本語の作文を添削したり、生活から学業までなんでもサポートします。留学生と一緒にいると、日々新たな発見があって面白いです。

日本が大好きだから、留学生にも日本を好きになってほしい。そんな気持ちで活動しています。

RAFとして活動を始めて、もともと興味の無かった海外を好きになりました。また、今では英語の勉強も始まっています。RAFにはもともと海外が好き、英語が得意という人が多いですが、自分のように海外に興味のなかった人が興味を持つきっかけになってくれたら嬉しいです。

◎チューター

マンツーマンで生活や授業をサポート



人文社会科学研究所
地域文化論専攻 1年
榎木 宏成

今年の4月から1年間滞在予定のドイツ人留学生のチューターとして活動しています。きっかけは指導教員からの紹介で、自分自身も留学生との交流には興味があったので引き受けました。

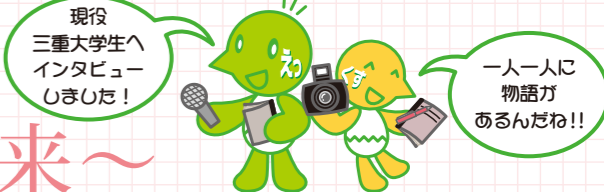
お互いに予定を合わせて、一対一で指導します。担当している留学生は、崩し字に興味を持っているので、その読解の仕方を主に教えています。

日本文化を紹介できることがやりがいです。将来は学芸員になって広く日本文化の魅力を紹介したいと思っています。自分自身の成長にも繋がると感じています。

来たれ!三重大学へ! Part2

特集

私はこちらして三重大学へ入学した ～現役三重大学生へ聞く、過去・現在・未来～



三重大学では7,000人を越える学生が学んでいます。彼らはどのようなきっかけで現在の分野を志し、三重大学への進学を目指したのでしょうか。現役三重大生にインタビューする大人気企画の第二弾!

人文学部

仕事と家庭を両立できるような環境づくりをしたい!



法律経済学科 4年 柏木 麻佑
人文学部の穴場スポットです!

きっかけ
自宅から通える距離の大学を探していて、いろいろな大学のオープンキャンパスに参加していくうちに、三重大は1つのキャンパスに全ての学部が集まっていて、幅広い交流ができそうで良いなと思いました。
もともと、経済学に興味を持っていたのですが、高校で政治経済を勉強していくうちに政治にも興味を持ち始め、経済学と並行して、政治や法律も勉強することができる法律経済学科を選びました。

入学してみても
敷地の広さに驚きました。1年生の時はいろいろな講義をとっていたので、教室の移動が大変でした。自転車は必需品だと思います。
また、教養教育の講義では他の学部の人たちとの関わりもあり、人文学部だけでなく、他の学部の友達もできたことや、上限はありますが、文化学科と法律経済学科の両方の授業を修得できたのが良かったです。
卒論では、インフラ系の会社の効率性評価について調べています。

将来は
インフラ系の会社に就職する予定なのですが、就職後は人事に関わり、女性も男性と同じように働ける職場環境を整えていくための制度作りにも携わってみたいです。
人事に関わりたいと思うようになったきっかけは、私自身が結婚や出産を経て仕事を続けたいと考えていて、就職活動をしながら、現行の制度ではまだ難しい部分がたくさんあると感じたことです。そこで、制度が充実したら私と同じような考えの方々も仕事を続けやすくなるのではないかと考えました。男性も女性も仕事と家庭を両立できるような環境づくりをしていけたらいいなと思っています。

★三重大学を目指す皆さんへ!
人文学部では幅広い分野を勉強することができるので、自分に興味のあることが見つかると思います。世の中の様々なことに興味を持って、それがきっかけで人生の選択も変わってくると思うので視野を広げてほしいなと思います。高校生活は長いようで短いので一生懸命楽しんでください!

教育学部

世界が広がった!



美術教育コース 3年 三谷 沢子
専攻は絵画です。最近は風景や動物を描いています。

きっかけ
小さいころから創作活動が好きで、美術について学べる学校に行きたいと思っていました。そんな時に、高校の美術部の顧問の先生が三重大学の教育学部美術教育コース出身で、美術も教育についても学べるよ、と勧められ三重大学美術教育コースへの進学を決めました。

入学してみても
勉強することは教育と美術半々ですが、特に美術は専門的で、絵画、彫刻、工芸など、様々な事を学ぶことができ、視野が広がりました。音楽も好きなので、一年生のときからアカペラサークルに入っています。絵画などとは別の方向で技を磨くことができ、良い刺激になっています。美術もサークルもどちらも楽しく、自分のしたいことに専念でき、充実した毎日を送っています。
また、去年の文化祭のコンテストでミス三重大に選ばれたことをきっかけに、自分からなにかを発信することがおもしろいと思うようになり、今年、津クイーンに応募し、2017年度津クイーンとして三重県内で様々な広報活動に参加しています。

将来は
以前は美術の先生か学芸員になりたいと思っていましたが、ミス三重大になったことをきっかけに、企業の広報の仕事をしたと思うようになりました。学んだ美術についても活かしながら、人と接するのも好きなので、たくさんの人達と関わることが出来るような、広い世界で働きたいと思っています。

★三重大学を目指す皆さんへ!
私は美術と教育に興味を持って入学しましたが、三重大学に入っているいろいろな経験ができ、選択肢が増えました!勉強はあまり得意ではなかったのですが、美術について学びたいという目標や、やりたいことがあったので頑張ることができました。目標ややりたいことをしっかり持って合格に向けて取り組んでいくとよいと思います。ぜひ頑張ってください!

医学部・医学科

患者さんに寄り添う医師を目指して!



医学科 4年 林 優里
医学部人体模型展示コーナーにて

きっかけ
医師を目指すきっかけとなったのは、小学校低学年の時にかかりつけのお医者さんにアレルギーを治療してもらってうれしかったことです。それと人と話をすることが好きで、医師という職業は、実際に患者さんと対話をしながら診断をしていくという、人に関われる仕事であると思ったからです。また、三重県出身で、家族のサポートも受けられやすく友人も多いので、働けたら三重大学がよいと思ったので、地元の三重大学医学部を受験しました。

入学してみても
授業や部活動を通じてたくさんの人と関わりを持つことができ、毎日が充実していて、三重大学に入学して本当によかったと思っています。3年生の後期からは、臨床系の内容に入り、身近な疾患を学べるようになって、講義や実習が楽しくなり、自分から進んで勉強しようと思えるようになりました。4年生の1月からは、参加型臨床実習が始まります。座学とは違って様々な知識を必要とされるので、さらなる研鑽を積んでいきたいと思っています。
また、医学部は部活動が活発です。私は卓球部に所属しており、8月の西日本医科学生総合体育大会では、キャプテンとしてチームを引っ張り8連覇に貢献しました。大会後、一旦引退しましたが、現在も続けています。部活動と勉強の両立は大変ですが、今は、医師になることに向かって勉強できることが楽しいです。

将来は
内科系か小児科に進みたいと思っています。知識をつけて適切な診断と治療ができる医師になりたいと思います。医療技術だけでなく、患者さんの不安を取り除き笑顔になってもらえるような気持ちに寄り添える医師を目指しています。

★三重大学を目指す皆さんへ!
大学は、高校とは違って出会いが多く、考え方も違った人と出会うので、思考の幅が広がるのが面白いです。今は目標に向かって受験勉強に励んでいると思いますが、入学したら勉強はもうおのずかしく、部活動やアルバイト、ボランティア活動などいろいろなことにチャレンジしてもらいたいと思います。

医学部・看護学科

“カッコいい”看護師になりたい!



医学部看護学科 3年 岡本 直也
医学部軽音楽部でテナーサクソフを吹いています!

きっかけ
地元の熊野市から一番近い国立大学、という理由で三重大学を選びました。できるだけ両親にお金の負担を掛けたくないことも理由のひとつです。
高校で将来のことを考えたとき、漠然と「医療職ってカッコいい」と思ったことが看護師を目指すきっかけになりました。人を救う知識と技術を身に付けて、いざという時に行動できる人になりたいと思っていました。また、女性が多い中で、男性であることで役に立てる機会も多いのではないかと考えました。

入学してみても
看護学だけではなく、教養教育の科目で様々な講義を受けられたのが意外でした。他学部で自分とは全く違う分野の専門職を目指している人と交流ができ、視野が広がりました。
やはり看護の技術を身につけるイメージだったので、入学してすぐに座学中心で、専門学校へ進学した友達と比べて、内気焦りも感じていました。しかし、3年生から本格的な実習が始まり、その中で基礎知識の大切さを痛感しました。

サークル活動
医学部の軽音楽部に所属して、ジャズをやっています。医学部の部活は同じ分野を目指す先輩と知り合えるし、スケジュールが合うので参加しやすいのが良い所です。医学部軽音楽部は50人くらいいて、医学部の部活の中ではかなり多いほうだと思います。普段はビッグバンド形式で演奏していて、年に一回の定期演奏会に向けて練習しています。
それ以外にも、少人数編成であるコンボ形式で、附属病院の最上階のレストランで月に一度、患者さんを相手に演奏しています。

将来は
最初は最先端の技術が集約されている三重大学病院で働いて、最終的には地元に戻りたいと思っています。
患者さんの中には、仕事や家庭のことなど、葛藤や悩みを抱えている人もいます。身体的なケアを提供するだけではなく、悩みを打ち明けられるような、精神的なケアもできる看護師を目指しています。

★三重大学を目指す皆さんへ!
呪文のように「勉強しなきゃ」とつぶやいている人も多いと思いますが、常に全力だと体調を崩すと思います。休むときはしっかり休み、頑張る時は全力で頑張って、受験を乗り越えてください!大学ではいろんな友達ができるし、自由度が高くて楽しいです。モチベーションが上からない時は、入学したらやりたいことを想像するとよいと思います。

工学部

プログラミングが好き 自分にぴったり



情報工学科 3年 毛利 真士
情報演習室にて

きっかけ
三重大学を選んだ理由の一つは、自宅から大学へ比較的通いやすいことです。また情報工学科を選んだ理由は、大学に入る前からプログラミングをしていて、プログラミングを含めコンピュータに関するということについて学びたいと思ったからです。

入学してみても
入学してみたら想像以上に自分の学びたいことが学べると思いました。プログラミング以外にも、コンピュータがどう動いているかといったことについても興味があり、それらのことについての講義もあるので、幅広く勉強ができます。先輩や後輩との交流も活発で、その交流のなかで、サークルに入ることもなり自分の興味のある競技プログラミングに進んでよかったです。

サークル活動
昨年からできた「計算研究会」に入っています。同期も含め、先輩や後輩から、情報系の様々な分野の話が聞けて自分の刺激になっています。サークルでの僕の主な活動は、ICPC(競技プログラミングの大学対抗コンテスト)への参加です。このコンテストでは、3人1組で対戦し、与えられた課題について個人の実力だけでなく、メンバー間で協働してプログラミングを行う、チームワークが大切な競技です。一昨年、昨年に続き今年も国内予選を勝ち抜き、12月16日～17日に行われるアジア地区予選への出場を決めることができました。
今年の大学祭では、VR(バーチャルリアリティ)の体験会や、IT技術の解説などを行いました。僕は人工知能(AI)に関する話をしました。将来は大学院に進んで、このような分野の研究を続けたいと思います。

★三重大学を目指す皆さんへ!
興味がある学科や志望先を選ぶことができると、大学の4年間が有意義なものになると思います。入学前に一度Webシラバスを見てみて講義内容を調べてみるのがおすすめです。大学に入った後は、いろんな人と話をしたり自分で調べたりして、自分の知らなかった様々な分野のおもしろさを知って、最終的に自分の興味のある方向へ進んでいる事ができたらいいかなと思います。

生物資源学部

気象学は地球との対話!



共生環境学科 3年 太田 圭祐
実験で使用する生物資源学部屋上の気象測器(右)とラジオゾンデ(左)です!

きっかけ
高校生の頃は陸上部に所属していました。部活中、急に雨が降ったり風が吹いたりすることを不思議に思うようになり、気象に興味を持ちました。進路選択の時期に気象を研究できる大学を調べた際、三重大学の生物資源学部のことを知り、進学を決めました。

入学してみても
入学して驚いたことは、生物資源学部には様々な研究分野が集まっていることです。私の希望した気象の他、生物、海洋、森林、畜産、土壌、更には機械やコンピュータ系の研究分野までもがあることに驚かされました。多種多様な分野を学んだことは、今思えば自然環境を学ぶ上で必要不可欠なことだったと実感しています。
また、練習船「勢水丸」や演習林、農場、水産実験施設など、キャンパス外に学びのフィールドがあることも魅力です。特に、勢水丸は他学部の同輩や、他大学の学生さんと乗船し、太平洋沖の黒潮上でラジオゾンデ(遠隔の気象観測機)を飛ばしてデータを得たことが印象深いです。船を持っている大学って、珍しいんですよ!!

研究テーマ
気象学は広い視野を必要とする学問です。大気は海流と密接な関係があり、気象現象の分析にはパソコンの知識や、統計学的な知識も必要になり、更に同じ空の下には人類を含めた様々な生物が存在しています。つまり、気象学と他の学問は離して考えることはできないと思います。先の話にも繋がりますが、気象以外の科目を学んだことで知見が広がり、それが現在の研究分野に活用できています。
様々な分野を学ぶ中で、入学時には天気予報の手法について興味がありましたが、現在は地球規模の気象現象についても興味を広がってきました。将来は、気象の研究とは直接関係なくても、人々の生活を影から支えるような仕事に就きたいと思っています。

★三重大学を目指す皆さんへ!
高校の勉強を大切にしてください。大学入学後、特に下宿をすると、世界が自分の周囲だけで完結してしまいがちです。そんなとき高校で学ぶ教科は、様々な分野にアンテナを張って自分の世界が広がるきっかけになると思います。受験勉強は暗記になりがちで、嫌になってしまふこともあると思います。そんな時は、自分が将来やってみたいことを調べてください。今自分が勉強していることが、将来の自分の夢に繋がっていることがわかると思います。

特集
おもしろ
研究・先生
XV

法学の面白さ、家族法を学ぶ醍醐味



三重大学人文学部・准教授
稲垣 朋子 Inagaki, Tomoko
[URL] <http://kyoin.mie-u.ac.jp/profile/2865.html>

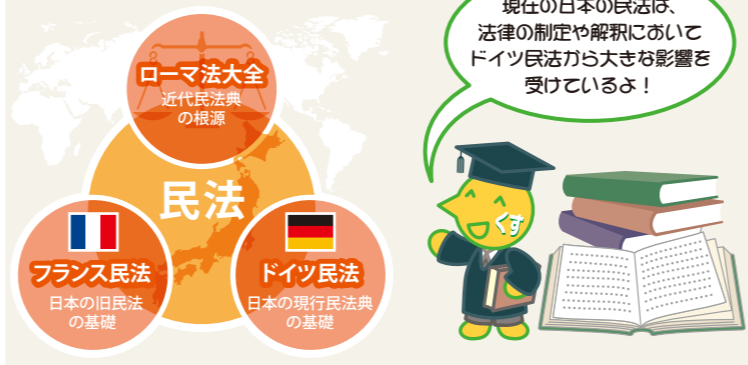
人文学部の中庭にて

身近な家族と法の関わり

私の専門は家族法です。家族法は、民法と呼ばれる法律の一部であり、婚姻、親子関係、相続などを定めています。人が一生をおくるうえで何らかの関わりをもつ事柄の多い分野です。その中でも、親権法分野を研究の対象としています。

具体的には、離婚後の親子関係のあり方(親権行使、面会交流)を法的にどのように規律していくべきかを模索しています。また、それを支えていくために必要とされる法政策についても、国内・国外(特に、民法のルーツの国の1つであるドイツ)の関係機関にヒアリング調査を行うなどして、研究を進めています。

●日本と様々な民法との関わり

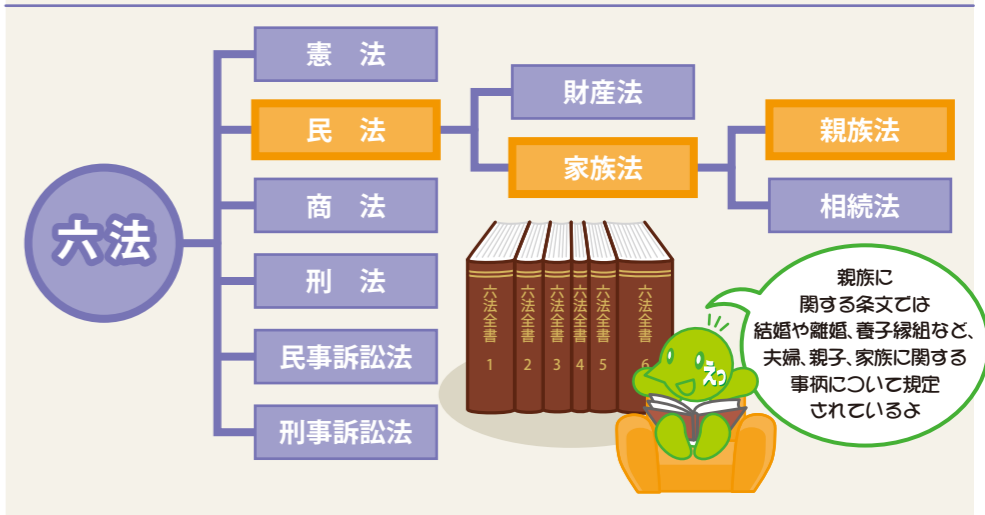


現在の日本の民法は、法律の制定や解釈においてドイツ民法から大きな影響を受けているよ!

●ドイツにおける面会交流

ドイツ民法典では、両親との交流が子の福祉のために原則として必要である旨規定されています。(1626条3項)		
付添い交流	援助期間(目安)	
高 1 監督つき交流 専門職員はビデオカメラを置いて面会交流の様子を観察し、すぐに駆けつけられるように隣の部屋で待機している。 ex) 交流権者*が精神障害やアルコール中毒の治療中の場合	1年以上	
2 狭義の付添い交流 面会交流を円滑に進められるように専門職員が時々様子をうかがう。 ex) 両親間に協力体制がみられない場合	6〜12ヶ月	
低 3 援助つき交流 専門職員は面会交流中には介入せず、子どもの受け渡し時だけ付き添う。 ex) 子どもと別居している親との交流に長期間のブランクが生じた場合 <small>*交流権者：ドイツでは、両親の他に祖父母や兄弟も含まれる場合があります。</small>	3〜6ヶ月	

●六法の分類



親族に関する条文では結婚や離婚、養子縁組など、夫婦、親子、家族に関する事柄について規定されているよ

現代社会の課題に家族法からアプローチ

講義では家族法の他に、「子どもと法」という科目を担当しています。この科目では、私の専門から少し手を広げて、たとえば児童虐待や生殖補助医療の問題も扱います。社会の変化や民法制定時には想定されていなかった課題に家族法はいかに対応をしているのか、していくべきなのか?社会学・心理学・医学など、他の様々な学問分野からも検討が可能なテーマですが、もちろん法的な観点も重要です。現場・関係者へのインタビューの映像資料なども素材にしながら、これからの世代を担う学生に、ぜひ学び、考えてもらいたいと思っています。



児童養護施設訪問で説明を聞く学生たち

六法を覚えるのではない! 法律を学ぶ意味とは

私のゼミは、2017年3月に2期生が卒業した、まだ発展途上にある「ひよっこ」ゼミです。法律を学ぶというと、六法を暗記するイメージをもつかもかもしれませんが、そうではなく、様々な解釈の仕方を学び、事例に当てはめて自分の頭で考えることこそが必要です。また、家族法は身近なテーマだけに、各人の価値観が大きく反映される領域ですが、単なる感情論に終始せず、法的に筋道立てて自分の意見を組み立てることを意識するよう求めています。将来、どのような道に進むにしても、培ったリーガル・マインド(論理的思考力)は必ず役立つと信じています。



卒業式の日ゼミ生たち

特集
おもしろ
研究・先生
XV

全ての表現の根幹にデザインがある



三重大学教育学部・教授
岡田 博明 Okada, Hiroaki
[URL] <http://okadahiroaki.web.fc2.com/>

美術棟デザイン教室にて

デザインと日本画

芸術大学のデザイン科を卒業した私が日本画を描き始めた理由は、日本画とデザインは共通するところが多いと感じたからです。

日本画とはもともと、ふすまや障子、壁や天井に描かれていて建築物に使われる事が多く、昔の日本画というのはデザインの一環だったのではないかとというのが私の考えです。良い絵、有名な絵といわれる絵画は構図がとても大事で、構図がよくない絵はどんな巨匠が描いても評価はされません。構図をどう考えるかというやはりそこにはデザインの考え方が重要で、私は全ての表現の根幹にはデザインが存在し、様々な芸術作品は何で表現するかという違いがあるだけで、根幹にはデザインという概念があると思っています。



『瀧桜』240号(194×260.6cm)
掲載されている作品は全て岡田教授の作品です

日本画と材料の関係

実は日本画には明確な定義はありません。明治以降に西洋の絵画がたくさん入ってきて、それらを洋画といったのに対し、それまで各流派で分かれていたものを統合して日本画と呼ぶようになりました。

日本画は主に岩絵具という、辰砂(赤色)、孔雀石(緑色)、ラピスラズリ(瑠璃色)など様々な鉱石、半貴石を砕いて作った顔料*で着色します。洋画のつやとした仕上がりではなく、きらきらと美しく、ざらざらとした触感なども特徴的です。

岩絵具を含む顔料の接着剤にも様々な種類があり、油で溶かした油絵の具、アクリルで溶かしたアクリル絵の具、そして伝統的な日本画で使われる膠(にかわ)というものがあります。膠は鹿やうさぎの皮などを煮詰めた煮凝り(主たる成分はゼラチン)を固めて使うものです。接着剤にはそれぞれメリット・デメリットがあり、油絵の具やアクリル絵の具は比較的耐久性はありますが、全ての顔料が接着剤で覆われるので、接着剤が酸化すると黒く変色することがあります。さらにアクリル絵の具は顔料に薄い半透明の膜がかかってしまいます。膠の場合は顔

*顔料とは色を出す成分で、色のついた粉です。
一般的な絵の具とは、顔料と接着剤を混ぜたものです。



藍銅鉱(らんどうこう)の粉末



『水桜』一枚一枚花びらを描き、盛り上げて色をつけています。

下地に使う方解石の粉末

料に膠を絡め、紙に塗り、吸着されると、膠が顔料の下側に流れ、顔料の上半分が露出し、顔料が持つ本来の美しい色や、きらきらした質感を出すことができます。ただ、膠は水に弱く、油や樹脂に比べやや耐久性に劣ります。また今の日本は昔と比べて高温多湿になってきていることもあり、膠で描かれた日本画の保存が非常に難しい状態です。紙にカビが生える等、湿気や乾燥などから紙を守ることは美術館であっても至難の業です。そういったことから、私は膠だけでなく岩絵具などの顔料にアクリル系接着剤を混ぜて使用することでより強度の高い絵画が出来上がるのではないかと考えています。

私が作品を描く際は、白大理石の粉と方解石の粉末をアクリル系接着剤で溶いたもので強固でマットな下地を作り、その上にマチエール(絵の表面の立体的な質感)を作り彩色をしていきます。また水を多くした絵具をかけ、マチエールの凹凸の隙間に絵具が入り込むことで微妙な表情を表現することを目指して描いています。

このように作家というのは、その時代の最先端の材料を模索しながら作品を作っていくものだと思います。



『花菱』F10号(53×45.5cm)



『富士』F10号(53×45.5cm)

●カゲムシャ [URL] <https://kagemusha-university.jimdo.com/>



デザイン教育の一環として、デザインのできる学生たちの集まり「カゲムシャ」を運営しています。メンバーは10名ほどで、2008年に始めて今年で9年になります。学内外から有料でデザインの依頼を受けています。最近では津市の健康づくり課のシンボルマークなどを作成しました。学生が主体で私はアドバイスをするなどバックアップをしています。学内も学外からもご依頼大歓迎です!ご興味のある方はカゲムシャのWEBサイトをご覧ください。



最近の学生達の作品 08

特集

共同研究の紹介

三重大学における同一県内中小企業との共同研究件数は全国でも3位と、共同研究活動を積極的に推進しています。
（平成27年度大学等における産学連携等実施状況について（文部科学省より）
今回は、そんな三重大学と地元企業との共同研究の一部を紹介します！

土壌を活用した水質浄化の共同研究

土を使った浄化槽の開発 三重大学大学院工学研究科・教授 金子 聡 × アルコ(株)



アルコ株式会社 代表取締役 東 和生



三重大学大学院工学研究科 教授 金子 聡

アルコ株式会社では「環境にやさしい汚水処理システム(ソフィールなど)」の製造・販売を行っています。ソフィールは土壌を使った高度処理浄化槽ですが、海外に浄化技術を輸出する障壁として、「土壌」を国外に持ち出すことが検疫上困難であるという課題がありました。そこで国外の土壌を水質浄化に活用するための技術開発を行うため、東南アジア地域の土壌に類似している沖縄県の土壌を使って共同研究が始まりました。しかし、沖縄県の土壌を単純に利用するだけでは、水質浄化に必要な「透水性」や「通気性」を確保できません。試行錯誤を繰り返しながら国外土壌の改良技術を得ることができ、処理水の脱色性能を飛躍的に高めることができました。

現在、台湾のビジネスパートナーとソフィール事業をスタートさせています。また、三重大学との共同研究で得た知見は、台湾の大学で行っている基礎的研究に活かされています。

執筆 / アルコ株式会社 水環境事業部 西山 朗
平成3年 水産学部(現 生物資源学部)卒業生

環境化学と分析化学に関する研究を行っており、その中でも、排水浄化システム、燃料への二酸化炭素の変換法の開発、光触媒材料を用いた水素生成法の開発に関する研究を行っています。

アルコ株式会社との共同研究では、土を使った簡便な浄化槽の開発を行っています。さまざまな種類の土壌を使用することにより、浄化槽としての役目を十分に果たし、排水の色や臭気などを取り除き、きれいな水にすることができました。

観光地や公園などに、本システムがますます応用されていくことを期待しております。さらに、アジアのさまざまな国々に設置されるようになればと思っています。



養殖・畜産の飼料開発 名誉教授 伊賀サテライト研究員 社会連携特任教授 荒木 利芳 × メロディアン(株)



メロディアン株式会社 工場長 松永 典也



名誉教授 伊賀サテライト研究員 社会連携特任教授 荒木 利芳

メロディアン株式会社は昭和33年に大阪府八尾市に大阪府最後発の牛乳会社として創業しました。現在「メロディアン・ミニ」で永年ご愛顧頂いておりますコーヒーフレッシュを中心にガムシロップ、ロングライフ飲料、健康飲料などを製造販売しております。

弊社工場では製造工程上、発生する原液ロスの低減ならびに有効利用が大きな課題となっています。毎年伊賀研究拠点で開催される「健康科学食品研究会」を通して荒木利芳 社会連携特任教授と共同研究を行うことになり、この課題の解決に取り組むことになりました。工場から排出されるロス原液を乳酸菌で発酵させ、生物資源学研究科の吉松隆夫教授の指導のもと養殖魚や家畜のプロバイオテックス飼料として開発を試みた結果、コイやマダイ稚魚において成長への有意な影響が見られました。

よって、今後は更に実用化に向けて機能性を追求した研究や、飼料会社との共同開発などに取り組んでいく予定です。

生物資源学研究科で微生物の多糖分解酵素や海藻の有効利用などを研究していましたが、退職後は未利用資源の有効利用、里山整備、忍者の火器火術の調査研究などを行っています。メロディアン株式会社で廃棄されていた製造工程で生ずるロス原液の有効利用について、社会連携特任教授の中井茂平氏(上野都市ガス(株)代表取締役社長)から提案があり、共同研究がスタートしました。

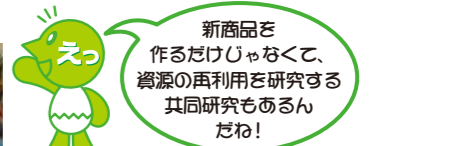
ロス原液を調査したところ、タンパク質や脂肪含量が高いことがわかりました。そこで我々は、このロス原液を発酵させ固形化させることで、養殖魚や畜産の飼料として利用することを試みました。保持している乳酸菌を用いてこのロス原液を使った発酵実験を行ったところ、より利用価値の高い、栄養豊富なチーズ状の発酵産物を作製することができました。そしてこの発酵産物を使って飼育試験を行ったところ、対照区に比べて成長(体重や体長など)を高める効果があることが判明しました。今後は、この発酵産物を養殖魚や家畜などの飼料のサプリメントとして、実用化に向けた研究を行っていく予定です。



実験に使用した乳酸菌を培養する様子



養殖実験の様子



新商品を作るだけじゃなくて、資源の再利用を研究する共同研究もあるんだね!

● 名称 メロディアン株式会社 三重工場

● 所在地 〒518-1151 三重県伊賀市2816-6

● 事業内容 コーヒーフレッシュ、シロップ、美と健康飲料の食品製造

● URL <http://www.melodian.co.jp/company/>

速報 文部科学省等支援プログラム

文部科学省 平成29~33年度 地域イノベーション・エコシステム形成プログラム

地域創生を本気で具現化するための応用展開

「深紫外LEDで創生される産業連鎖プロジェクト」

文部科学省の5か年補助事業「地域イノベーション・エコシステム形成プログラム」に三重大学が採択されました。同プログラムは、地域の成長に貢献しようとする地域大学に事業プロデュースチームを創設し、地域の競争力の源泉（コア技術等）を核に、地域内外の人材や技術を取り込み、グローバル展開が可能な事業化計画を策定し、社会的インパクトが大きく地域の成長とともに国富の増大に資する事業化プロジェクトを推進します。日本型イノベーション・エコシステムの形成と地方創生を実現するものです。

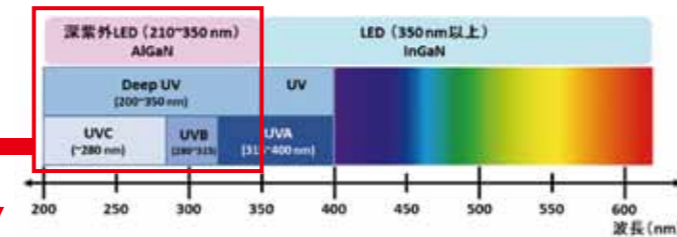
引用元：文部科学省ホームページ (<http://www.mext.go.jp/>)

三重大学の拠点計画テーマは、「地域創生を本気で具現化するための応用展開『深紫外LEDで創生される産業連鎖プロジェクト』」で、事業プロデュースチームの副学長（社会連携担当）・地域戦略センター長 西村訓弘教授が中心となってプロジェクトを進めます。中心研究者の地域イノベーション学専攻長 三宅秀人教授が確立した「深紫外LEDの基板作製」技術などにより、飛躍的な製造コスト低減を実現し、その産業振興をLEDメーカーおよび地域アセンブリメーカー※と連携して進めます。

※アセンブリメーカー：殺菌装置等メーカー

深紫外LEDは、農水・医療などの広い応用分野を持つため、青色LEDの次を担う有望な素子で、量産化すべき重要技術

深紫外LEDに期待される用途は多くあります。中でも特に短波長の深紫外線は高い光エネルギーで生物のDNAを破壊するため、人体に有害な薬品等を使用せずに水や大気の殺菌が可能で、農水分野で応用が期待されています。その他、紫外線吸収を応用した樹脂硬化・検査・計測・分析などへの応用も提案されています。



期待されるアプリケーション領域

水の浄化

[想定用途]
● 植物工場
● 食品加工工場
● 陸上養殖 など

紫外線殺菌

[想定用途]
● 歯ブラシケース
● スリッパラック
● 哺乳瓶・食器 など

空気浄化

[想定用途]
● 病院
● 介護施設
● 図書館 など

医療

[想定用途]
● 病室・手術室の紫外線殺菌
● 医療機器への応用 (皮膚病治療機器、透析用監視装置...) など

分析・計測

[想定用途]
● DNA・RNA 純度・濃度測定
● 水質・大気汚染物質計測 など

深紫外LEDのメリット

小型化、高出力化、
オーダーメイド波長調整、
長寿命・省エネ

当プロジェクト コア技術の概要

三宅方式とは？

三宅方式とは？

深紫外LEDを作るには、窒化アルミニウム (AlN) 基板が必要となり、その製造方法について国内外のグループが研究を進めています。AlNの基板製造方法には大きく分けて、①サファイア下地基板の上にAlN膜を結晶成長させるヘテロ結晶成長法と、②AlN下地基板の上にAlN膜を結晶成長させるホモ結晶成長法の2つがあります。ヘテロ結晶成長法では従来、「MOCVD法」が行われてきました。汎用性が高い「スパッタ法」は、大面積で均一な膜の作製に適した方法ですが、低品質のAlN基板しか製造できない問題がありました。しかし三宅方式ではスパッタ法で製造したAlN基板に、高温で熱処理(アニール)を行うことで、低コストで高品質なAlN基板を製造することが可能になりました。高出力で低価格な深紫外LEDの実用化に不可欠な技術として、世界中で注目されています。

結晶成長法

三宅方式

スパッタ法

アニール

AlN膜形成 + AlN膜の結晶品質を改善

AlN基板

● 高結晶品質
● 短時間で低コスト

三宅方式で高品質のAlN基板ができるんだね

深紫外LED

● 高出力
● 高生産性を実現可能!

だから、深紫外LEDがたくさん作れるんだね

三宅方式の実用化展開

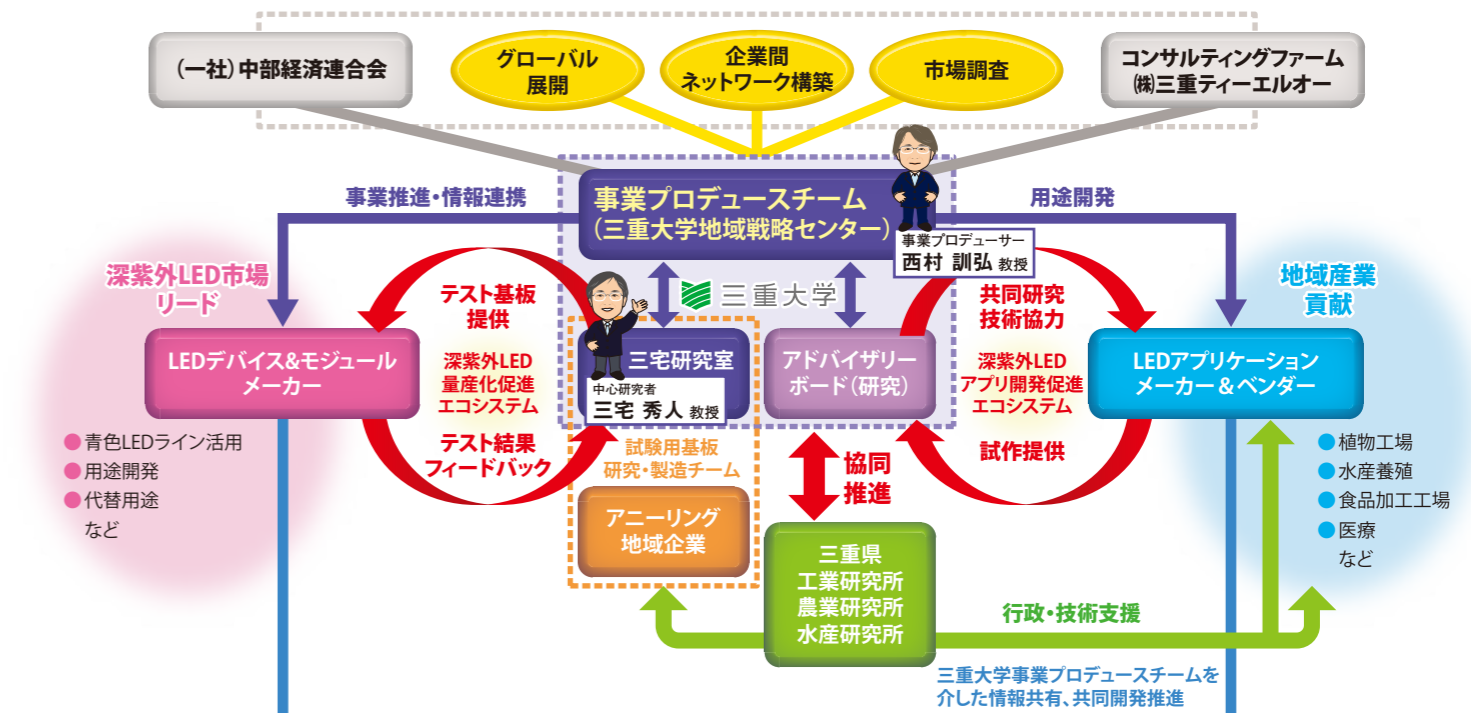
交通・運輸・空調

UV樹脂硬化

植物工場

水産・養殖分野

深紫外LED量産化・アプリ開発促進事業枠組み (二つの循環サイクル)



事業プロデュースチームが中心となり、関係機関が上図のように連携し、「深紫外LED量産化推進」および、「深紫外LEDアプリ開発促進」という2つのエコシステムを構築し、プロジェクトを進めます。

速報 文部科学省等支援プログラム



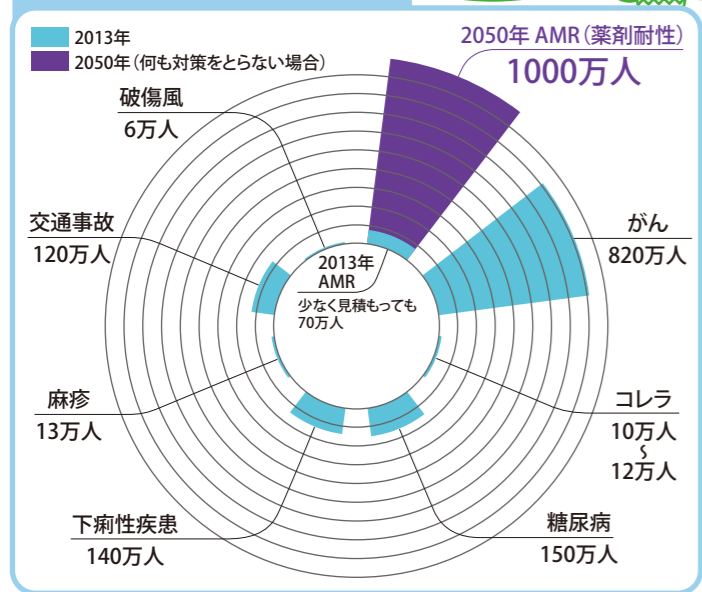
平成29~31年度 厚生労働省科学研究費補助金(新興・再興感染症及び予防接種政策推進研究事業)

「地域における感染症対策に係るネットワークの標準モデルを検証・推進するための研究」

肺炎や尿路感染などの細菌感染症の治療薬である抗生物質(抗菌薬)が効かなくなる薬剤耐性(英語で、AMRといいます)が、世界的な問題になっています。2013年時点で、薬剤耐性が原因となった死者数は70万人程度ですが、このまま何も対策を取らない場合、2050年には、がんを超えて、1000万人が死亡すると推計されています。

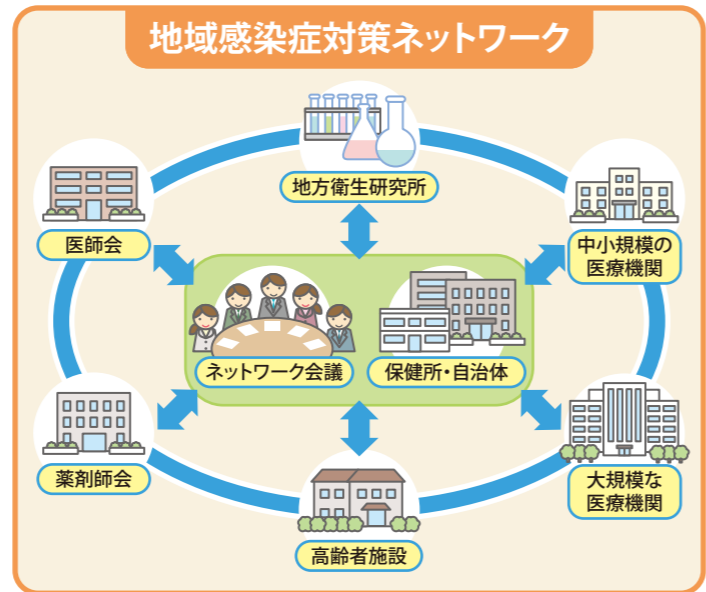
薬剤耐性の問題は、ヒトに対する医療に限ったものではなく、動物・食品・環境などに用いられる抗生物質も大きく関連しています。そこで、ヒトと動物の垣根を越え、一つの健康という概念(ワンヘルスといいます)で取り組みが行なわれています。また、医療の現場でも、個々の病院だけで取り組むのではなく、病院・診療所・薬局・高齢者施設・保健所・地方衛生研究所などが連携してネットワークを作り、総合的に感染症対策に取り組むことが求められています。

薬剤耐性(AMR)に起因する死者数の推定



出典元: 第1回薬剤耐性に関する検討調整会議(平成27年12月24日)資料2-1 厚生労働省提出資料

世界保健機関(WHO)の加盟国は、薬剤耐性に関する国家的な計画を策定することになりました。また、2016年5月のG7伊勢志摩サミットでもテーマの1つとして取り上げられました。日本においても、検討がなされ、2016年4月に、今後5年間で実施すべき事項をまとめた「薬剤耐性(AMR)対策アクションプラン」が策定されました。



しかしどのようなネットワークが良いのかは、まだ分からない状況です。三重県では、2015年から感染症対策の地域ネットワーク(Mie ICNet)を作り活動をしています。今回、薬剤耐性対策も含めた総合的な感染症対策の地域ネットワークを構築するため、三重大学医学部附属病院感染制御部が主体となった研究グループで、検討を行なうことになりました。

研究のスケジュール

AMR対策モニタリング

- 微生物サーベイランス
- 抗菌薬サーベイランス (三重県内の耐性菌の状況、抗菌薬の使用量の調査)

31年度: 3年間のサーベイランスの評価

感染対策支援のためのネットワーク

Mie ICNet (Mie Infection Control Network)

アウトブレイク発生時の支援

アウトブレイクの要因分析や対応が難しい場合、専門家を派遣します。

感染対策相談

日常的な感染対策上の疑問に専門家が回答します。

感染症関連情報の共有

<http://www.mie-icnet.org/>

微生物特殊検査

微生物特殊検査が実施可能な医療機関を紹介します。

微生物・抗菌薬サーベイランス

三重県内の病院を対象に微生物・抗菌薬のサーベイランスを実施します。

AMR対策アクション

- 県内施設の感染症対策支援
- 医療者向けの教育(感染症治療・感染症対策)
- 市民向けの啓発(市民公開講座)

各種取り組みの評価

29年度

30年度

31年度

地域モデルの見直し

啓発活動

11月はAMR対策推進月間

市民公開講座

11月23日

抗生物質が効かなくなると、医療は非常に危険なものになります。「いつまでもより良い医療が受けられるよう未来に抗生物質を残したい」その思いを胸に活動しています。

三重県を一つの地域モデルとして、感染症対策を推進するネットワークを構築し、三重モデルを全国に広げていくのが目標です。

薬剤耐性は、医療関係者だけでなく、県民のみならずにも関連する課題です。11月はAMR月間になります。市民公開講座などを通じて、県民への啓発も行なっていきます。



6月

1日 津市立北立誠小学校の避難訓練

津市立北立誠小学校で「地震発生にともなう津波避難訓練」が行われ、教育学部の学生19名がボランティアとして参加しました。児童514名が37分かけて三重県総合文化センターへ避難しました。



6日 「科学的地域環境人材」育成事業 (SciLets) フォーラム

平成28年度から企業・自治体の環境担当者あるいは一般社会人、そして本学学生を対象として、地域で活躍できる環境人材を育成する「科学的地域環境人材育成事業」を開始しました。地域の環境を保全し、地域に多く存在する環境価値を利活用して地域の活性化を図ることを主な目的としています。このフォーラムはその内容を広く公開し、また「地域を支える環境人材」というテーマで企業、行政、学生との意見交換を行い、今後の方針の参考とすることを主な目的とし、開催されました。



8日 平成29年度 生命の駅伝がん研究奨励賞授与式

走りながら、がん研究の募金を呼び掛けるチャリティーイベント「第23回生命(いのち)の駅伝(EKIDEN for LIFE)」が5月14日～28日に県内を中心に行われました。昨年度から、新たな制度「生命の駅伝がん研究奨励賞」を設け、選考委員会により採択されたプロジェクトに、研究の支援金としてチャリティーイベントで集められた募金が授与されました。



10日 梅酒造り開始

今年も梅酒造りの活動が始まりました。主に梅の実のヘタ取りと洗浄を行いました。ヘタは洗味などの原因となるため、竹串で一つ一つ取り除きます。ヘタを取った梅の実は丁寧に洗った後にザルにあげ、2人がかりで酒蔵の中にあるタンクまで運びます。2007年から本学学生による日本酒造りが始まり、その2年後に始まった梅酒造りは今年で9年目になります。



完成した梅酒「紅翠」は9月から販売されているよ!

7月 「国際忍者研究センター」

1日 設立記念セレモニー

伊賀サテライト内に「国際忍者研究センター」が設立されました。本センターは、伊賀地域を中心として忍者に関する教育研究を推進し、その成果を広く国内外に発信することにより、国際的な忍者研究の拠点として機能するとともに、伊賀の地域創生に資することを目的としています。これを記念し、同日セレモニーを開催し、約200名の方にご参加いただきました。



27日 林家菊丸三重大学社会連携 特任教授特別落語講座

講師の上方落語家林家菊丸さんは平成27年に三重大学社会連携特任教授に就任してから毎年度特別講座を開講しています。今年度の特別講座は、上方落語の「胴川の幸助」を上演した後、「落語の構成力と笑いの普遍性」というテーマで講義をしていただきました。学外と学内からあわせて60名を超える来場者がありました。



30日 津なぎさまちフェスタ

「津なぎさまちフェスタ」は、津なぎさまちと中部国際空港間を高速船で繋ぐ海の道が開港したことを祝うイベントとして2005年から開催され、今年で12年目となります。朴恵淑人文学部教授と環境ISO学生委員会はエコ教室を運営し、エコすごろく、エコかるたを通じて環境について楽しく学べるイベントを企画しました。



8月 「忍びの里 伊賀」

5日 創生プロジェクト発足会

三重県と日本航空は2015年12月に「食」と「観光」に関する協定を締結後、日本航空の新ジャパンプロジェクトとして、伊勢の地を舞台とした旅プログラム「常若婚」が展開されています。この第2弾の企画として、「忍者」ゆかりの地である伊賀市において、歴史・文化を掘り下げ、本物を体験するプログラムを産学官民が連携して創出するため、三重大学・三重県・伊賀市・日本航空による協同事業『忍びの里 伊賀』創生プロジェクトが発足しました。



8日 三重大学

9日 オープンキャンパス2017

8日に人文学部、生物資源学部、9日に医学部 医学科、医学部看護学科、10日に教育学部、工学部のオープンキャンパスが開催され、3日間で6216人の参加がありました。



8日 附属農場「夏休み子ども体験学習

9日 めざせ!トマトマイスタープロジェクト」

26日 附属農場でのトマトの収穫から、トマトジャム 缶詰加工、ラベル作成など「高野尾花街道 朝津味」にて店頭飾りつけ、トマトジャムの販売を体験しました。全行程参加した参加者は「トマトマイスター認定証」が授与されました。8日は20名、9日は15名、26日は、29名の参加がありました。



9月 生物資源学研究科オープンラボ

1日 「産学官コミュニティシンポ2017」

オープンラボとは、研究科の教員と就職を意識する学部・大学院生が、地域の産業の方々と共に「地域に貢献する学問とは何か」を考えるイベントです。日頃教員と大学院生が研究室で行っている研究の成果を、農林水産・食品・バイオ・環境関連企業や公的機関の方々に紹介し、産業界の方々と情報交換することなどを目的として開催されました。



5日 第19回三重大サイエンスカフェ

「未来の都市計画を探る—歴史・文化資産を活かして未来のまちを創る—」と題して工学研究科 浅野聡准教授から、江戸時代の都市計画や、100年前に提案され世界的に影響を与えた未来の都市計画などの説明がありました。また、自身が案内人を務めたNHKの人気番組「プラタモリ」の話とともに、現在注目されている持続可能な都市を目指したまちの風土・歴史に合った固有のまちづくりについての紹介がありました。



24日 平成29年度 「みえ風水害対策の日シンポジウム」

三重県では、風水害対策の理解を深めるため、伊勢湾台風が上陸した9月26日を「みえ風水害対策の日」と定めています。本年は、「みえ風水害対策の日」にちなんで、風水害発生時の適切な避難行動のあり方や将来起こりうる風水害への備えについて改めて考え、災害に強い地域づくりを進めるため、「災害情報の伝達と避難行動」をテーマとしてシンポジウムを開催しました。



10月 保護者向け 「就職活動」についての説明会

学生、保護者の方あわせて749名の参加がありました。午前は全学説明会、午後は学部別説明会が行われました。保護者の皆様は午前、午後いずれも熱心に耳を傾けていました。



24日~ 27日 第24回Tri-U国際ジョイントセミナー & シンポジウム

Tri-U国際ジョイントセミナー&シンポジウムは、三重大学(日本)、江蘇大学(中国)、チェンマイ大学(タイ)、2011年度に新たに加わったボゴール農科大学(インドネシア)の4つの大学が毎年交代で開催校となって開催する、学生を中心とした研究発表と国際交流を兼ねた研究発表会です。6カ国11大学から集まった100名を超える学生・教職員が口頭発表やポスター発表を行いました。



11月 第69回三重大学祭

3日 「千載一遇」
4日 今年のテーマは、一年に一回開催される三重大学祭を、参加するすべての人にとって、二度と訪れることはないかもしれないほどの恵まれた出会い「千載一遇」の機会・場にしたいという熱い願いが込められています。両日も天候に恵まれて、模擬店やメインステージでのイベント、サークル等の発表、バンド演奏、さらには子ども企画などが行われ、学生と来場者の活気で溢れていました。



気になるEXTRA

安否確認システムANPIC導入!

10月1日より安否確認システムANPICプラスを導入しました。大規模災害、パンデミック、国民保護事態等が発生した場合、一斉メールを配信し、安否の報告を求めるシステムです。安否報告を行う以外に、掲示板を用いて、大学の指示連絡を見ることが、保護者やご家族の方が登録者の安否と状況を確認することができます。

安否マン



スポット

スエヒロ：創業の地の名称であり、「すえひろがり」の発展を目指すため
EPM：Engineering of Plant & Machineryの頭文字から

三重のピカ1

三重県でピカッと輝く
企業を紹介します。



- 名称 / 株式会社スエヒロEPM
 - 所在地 / 〒510-0052 三重県四日市市末広町2番4号
 - 代表者 / 代表取締役社長 清水啓一
 - 事業内容 / 搾油機や食品加工機、付帯設備や各種機器の開発・製造
 - 企業理念 / ものづくりを通して、創造の喜びを知る
- [URL] www.suehiroepm.co.jp/

ピカ1 オンリーワンのものづくり!

国内シェア90%!

スエヒロEPMは、スクリーブレス式搾油機や脱水機、食品・飼料用押出機などを開発・製造する会社です。お客さんの要望に的確できめ細やかに対応できるよう、技術設計部、製造部、営業技術部の各セクションが密接な連携のもと、一貫体制を確立しています。また、新鋭のCAD※ネットワークシステムによる設計と、各種工作機械設備による自社製造を行っており、「オンリーワンのものづくり」を目指しています。本社事務所1階には実験室があり、小型機から生産機クラスの機器が用意されており、お客さんの商品開発ニーズや機器改良ニーズに応えられるような環境が整えられています。このように、お客さんそれぞれの要望に合った製品づくりによって、現在スクリーブレス式搾油機の国内シェアは90%を誇っています。

※パソコンの画面上で図面を作成するためのソフトウェアのこと。



▲製造中のエキスペラー(搾油機)、これはゴマ専用の機械です

オーダーメイドの製品づくり

清水社長の説明によると、それぞれの機械の外観は同じように見えても中の部品はお客さんの要望や用途によって変わってくるので、同じものは1つもなく、1つの機械を製造するには8か月~1年かかるそうです。それぞれの機械に応じて段取りを変えながら製造しているの、1つ1つオーダーメイドの製品となっています。お客さんの細かい要望にも応えられることがスエヒロEPMの強みとなっています。



▲スエヒロEPMの機械でつくられた油やせんべいの生地など。ペットフードもありました



▲(左から)三重大学卒業生の鏡さん、清水社長

課題に直面しながらも日々成長

オーダーメイドの製品づくりということで、初めての用途や材料に出会う場面がたくさんあり、その中で思うように機械が動かないといった様々な課題に直面することもあります。しかし、試行錯誤しながらも、よりよい製品をつくるために設備投資、機器改造・開発など、様々な技術革新に取り組んでいます。

また、清水社長から、「お客様が求める機械をお客様と共につくる。そのおかげで会社として成長することができました。」とのお話がありました。より良い製品づくりのためには、お客さんとの意思疎通や協力が不可欠となっているのです。



倉園 レポーター

お客様それぞれの
ニーズに合わせたものづくりが
この会社の魅力だと思いました!

倉園 ぶぶ希(人文学部文化学科 3年)

ギターマンドリンクラブ

活動は
日時 / 毎週火曜日・木曜日 18:00~21:00
活動場所 / 課外音楽棟



こんにちは!私たちはギターマンドリンクラブです。マンドリン系の楽器3種とクラシックギター、コントラバスの編成で練習しています。マンドリンはあまり馴染みのない楽器だと思えますが、ポロポロとしたきれいな音の出る、見た目が丸くて少し可愛げのある楽器です!

今は現役29人で活動していますが、ギターマンドリン経験者はごくわずかです。大学から楽器を始めた人も多くいます。初めは全く弾けなかったのですが、練習していくうちに少しずつ上達して曲が弾けるようになったときの達成感忘れられません!

今年の9月には三重大近辺の公民館で行われた敬老会で、5人のアンサンブルで演奏させていただき、地元の方々と一緒に歌って楽しい時間を過ごすことができました!

演奏会やその他の活動の情報などはTwitterでお知らせしておりますので、ぜひ御覧ください!



代表 神田 昌也 (工学部 3年)
[Twitter URL] https://twitter.com/mie_gmc2015
(三重大学ギターマンドリンクラブ)



表千家茶道部

活動は
日時 / 毎週金曜日 16:00~20:00
活動場所 / 課外活動共用施設2階和室



こんにちは。表千家茶道部です。私達は大学祭でお茶会を開くことを目標に、週に1回炉のある和室で練習しています。茶道経験者も未経験者も先生や先輩、後輩・部員同士教え合いながら、お点前の練習との切りかえを大切に和気あいあいと活動しています。

表千家茶道部は、部員同士のつながりが強くアットホームな雰囲気の特徴です。大学祭でのお茶会に向けた活動ではおもてなしに工夫を凝らし、部員全員で知恵を絞るので、終わった後は皆で大きな達成感を共有しています。また、新しいお点前に挑戦するなど日々新たな取り組みを増やしています。茶道部の活動を通して、お点前の練習はもちろん、様々な学部・学科に所属する部員、留学生と交流し、試行錯誤しながら主体的に活動を楽しんでいます。HP・Twitterで私達の活動を紹介します。ぜひご覧ください。



代表 青島 恵美 (人文学部 3年)
[HP URL] https://sites.google.com/site/mieomote1000sadohu/
[Twitter URL] https://twitter.com/mie_omotesado



本の紹介



『忍者はすごかった 忍術書81の謎を解く』

忍者が記した忍術書の中から、現代人にも役立つ教訓を抜き出して解説を加えた書。忍術とは決して摩訶不思議な術ではなく、人と人との関係の中で、いかにして生きるべきか、我々に多くのことを教えてくれます。

単著 / 山田 雄司
(人文学部・教授)
定価 / 780円(税抜)
発行 / 幻冬舎
頁数 / 222ページ
ISBN / 978-4-344-98464-6



『学び考え、問い続けた 校長職3287日』

本書は、学校改革等に励んだ校長の教育観・授業観といった「もめ方の見方・考え方」の大切さが記されている。現在・将来の管理職には学校経営や人材育成等を、教諭等には教育とは・授業とは何かなどを学べる内容です。

単著 / 市川 則文
(教育学研究科・特任教授)
定価 / 1,800円(税抜)
発行 / 日本文芸出版
頁数 / 154ページ
ISBN / 978-4-5366-0097-2



『ガスマンのための営業読本』

筆者は、長らくLPガス、都市ガス会社に主として営業活動をしてきた。都市ガス業界が本年4月より自由化されたことから、これまでの営業手法、体験を取り纏め、電力、ガス自由化時代を乗り切る業界の若い方々への道標が書かれている。エネルギーに興味のある方には必読書です。

単著 / 中井 茂平(伊賀サテライト 伊賀研究拠点 社会連携 特任教授)
定価 / 1,600円(税抜)
発行 / ガスエネルギー新聞
頁数 / 304ページ
ISBN / 978-4-902-84920-2



『忍者が「負けない心」の秘密』

過酷な環境下で職務を遂行していた忍者に、最も重要なことは、生き延びることでした。印や息長が脳、身体に及ぼす影響を脳波などで検討し、明らかになった忍者の精神性をはじめ、忍者の心技体を紹介しています。現代人に生き方のヒントを与えるでしょう。

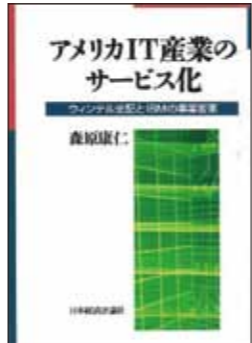
単著 / 小森 照久
(医学系研究科・教授)
定価 / 760円(税抜)
発行 / 青春出版社
頁数 / 208ページ
ISBN / 978-4-413-09674-4



『こころの疾患と香り』

精神科医である著者が、長年取り組んできた香りの研究を、背景や経過とともにまとめ、展望を示しています。科学的根拠に基づいた香りの抗ストレス作用、抗うつ作用、抗不安作用、睡眠に対する作用や臨床応用、各分野における応用と意義について紹介しています。

単著 / 小森 照久
(医学系研究科・教授)
定価 / 1,600円(税抜)
発行 / フレグランスジャーナル社
頁数 / 144ページ
ISBN / 978-4-89479-289-0



『アメリカIT産業のサービス化 ウィンテル支配とIBMの事業変革』

巨象IBMはなぜ復活したのか——。マイクロソフトとインテルの産業支配に抗し、自社の規模と範囲を活かす「統合化」を追求してサービス化を成し遂げた独自の戦略を析出する。研究史を埋める労作。他の製造業の分析にも示唆に富む内容です。

単著 / 森原 康仁(人文学部・准教授)
定価 / 4,500円(税抜)
発行 / 日本経済評論社
頁数 / 240ページ
ISBN / 978-4-8188-2470-6



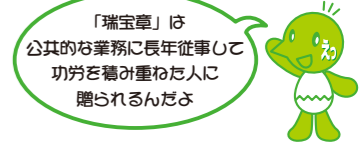
『音楽療法はどれだけ有効か 科学的根拠を検証する』

筆者は音大卒の医師。医学的・科学的に正しい音楽療法とはどういうものか? 現時点で明らかになっている音楽療法のエビデンスについて、脳神経疾患を中心に解説します。

単著 / 佐藤 正之
(医学系研究科・准教授)
定価 / 1,600円(税抜)
発行 / 化学同人
頁数 / 208ページ
ISBN / 978-4-7598-1674-7

平成29年 秋の叙勲受章者

- 瑞宝中綬章(教育研究功労)
名誉教授(元三重大学教育学部・教授)
山本 悦惟
- 瑞宝中綬章(教育研究功労)
名誉教授(元三重大学工学部・教授)
水畑 雅行



公益財団法人 武田科学振興財団 「2017年度特定研究助成」の贈呈対象に決定

● 2017年11月13日

武田科学振興財団は、「科学技術の研究を助成振興し、我が国の科学技術及び文化の向上発展に寄与する」ことを目的とし設立されました。「特定研究助成」は、医学の発展に向け、研究機関が総力をあげて取り組む共同研究への助成を行うもので、医学系研究科 稲垣昌樹教授の研究課題「一次シリアの細胞機能と疾患における役割の全容解明」が贈呈対象に決定しました。



教職員表彰

特別研究員等審査会 専門委員表彰

(2017.8.21)

生物資源学 研究科 取出 伸夫 教授

日本学術振興会では、学術研究の将来を担う研究者の養成・確保を目的として特別研究員事業を行っており、その選考に関しては、適正・公平な審査に努めているところです。平成21年度より、検証結果に基づき、書面審査における有意義な審査意見を付し専門委員を表彰しています。書面審査を行った約1,500名の専門委員のうち、表彰対象となる任期2年目にあたる約600名の中から取出伸夫教授を含む158名が選考されました。



平成29年度 科学研究費助成事業審査委員の表彰

(2017.10.18)

教育学部 荻原 彰 教授
生物資源学部 近藤 誠 准教授



日本学術振興会では、学術研究の振興を目的とした科学研究費助成事業(科研費)が行われています。本表彰は、審査終了後の検証結果に基づき、第2段階審査(合議審査)に有意義な審査意見を付した第1段階審査(書面審査)委員を選考し表彰するものです。平成29年度は約5,300名の第1段階審査(書面審査)委員の中から荻原教授と近藤准教授を含む255名が表彰されました。



『日中対照表現論Ⅱ 一事例研究を中心として一』

拙著(2007)、同(2013)に続く、日中対照表現論三部作の挿尾を飾る書です。表現の典型例と頻度数の提示に基づく事例研究を中心としています。本書によって日本語の受身表現は30パーセントほどしか中国語の受身表現にならない(=対応しない)ことが判明しました。その他、ている(日)、とりたて(日)など中国語表現の関係、村上春樹の小説の中国語訳について論じています。

単著 / 藤田 昌志(地域人材教育開発機構・准教授)
定価 / 3,000円(税抜)
発行 / 朋友書店
頁数 / 154ページ
ISBN / 978-4-892-81164-7



『持続可能な社会を考える エネルギーの授業づくり』

編著 / 永田 成文(教育学部・教授)
山根 栄次(名誉教授)
定価 / 1,200円(税抜)
発行 / 三重大学出版会
頁数 / 128ページ
ISBN / 978-4-903866-37-6



『界面と分散コロイドの基礎と応用』

共著 / 川口 正美(名誉教授)
定価 / 8,000円(税抜)
発行 / シーエムシー出版
頁数 / 148ページ
ISBN / 978-4-7813-1261-3



『Social media and civil society in Japan』

共著 / 大倉 沙江(人文学部・助教)
定価 / アメリカ \$99
発行 / Palgrave macmillan
頁数 / 210ページ
ISBN / 978-9-811-05094-7



『自然災害 減災・防災と 復旧・復興への提言』

共著 / 浅野 聡(工学研究科・准教授)
定価 / 3,600円(税抜)
発行 / 技報堂出版
頁数 / 350ページ
ISBN / 978-4-7655-1849-9



『改訂新版 実務測量に挑戦!! 基準点測量』

共著 / 成岡 市
(生物資源学 研究科・教授)
岡島 賢治
(生物資源学 研究科・准教授)
定価 / 3,000円(税抜)
発行 / 電気書院
頁数 / 340ページ
ISBN / 978-4-485-30254-5



『Thoreau in the 21st Century: Perspectives from Japan』

共著 / 小田 敦子(人文学部・教授)
定価 / 3,700円(税別)
発行 / 金星堂
頁数 / 283ページ
ISBN / 978-4-7647-1173-0



『織豊期研究会編 織豊期研究の現在(いま)』

共著 / 藤田 達生(教育学部・教授)
定価 / 6,900円(税抜)
発行 / 岩田書院
頁数 / 318ページ
ISBN / 978-4-86602-995-5

織豊期研究会は1995年に発足し、現在は三重大学に事務局を置いています。



※()内は指導教員
学年は受賞当時

教職員表彰

**2017年度グッドデザイン賞
「グッドデザイン・ベスト100」と
「特別賞〔復興デザイン〕」
を同時受賞**
(2017.11.1)

地域人材教育開発機構 永野 聡 講師



今年度は4495件の応募から1403件がグッドデザイン賞を受賞し、その中から、大賞1件、金賞19件、特別賞25件が選出されました。
永野講師の所属する共同チームの受賞対象は「マーケット ゆりあげ港朝市」です。東日本大震災後の復興における宮城県名取市閉上地区の朝市を中心とする復興デザインや地域貢献、そしてハードデザインとソフトデザインの両方を住民参加型で進め、エンカナルなソーシャルデザインへと昇華していった点が高い評価を受け、受賞に繋がりました。

**The 6th Lyn Clearihan Award
(2015.2016の年間最優秀論文賞)
を受賞**
(2017.11.1)

医学系研究科 後藤 道子 助教



左から2番目 後藤道子助教

Lyn Clearihan(リン・クリアハム)賞は、WONCA-APR(アジア大洋州支部学術大会)の学術誌Asia Pacific Family Medicine誌に掲載された過去2年間の論文の中で、北アジア、東南アジア、オーストラリア/ニュージーランドから選ばれた評価者が最も高い得点を付けた論文に与えられる賞です。Asia Pacific Family Medicineの初代編集長Lyn Clearihan教授の名を冠したこの賞を後藤道子助教が受賞しました。

平成29年度教育功労者表彰
(2017.11.7)

工学研究科 菅原 洋一 教授



本表彰は、三重県教育委員会が県内の教育及び学術の発展並びに文化財の保護顕彰に功績顕著な個人や団体に対し、その功に報いるとともに、今後の教育、学術及び文化財保護の発展振興に資することを目的として行う、今年で59回目を迎える歴史ある表彰です。
菅原教授は、専修寺唐門・太鼓門・山門(津市)や旧長谷川家住宅(松阪市)の調査をはじめとする東海地域の文化財保護への貢献が認められ、学術文化功労を受賞しました。

受賞者	受賞名(受賞日)
医学系研究科 安間 太郎 助教	ISTH2017 Congress TOP RATED POSTER 優秀ポスター演題 優秀ポスター賞 (2017.7.11)
地域イノベーション学研究科 林 侑介 助教	日本結晶成長学会 ナノ構造・エピタキシャル成長分科会 研究奨励賞 (2017.7.13)
医学部附属病院 南端 翔多 理学療法士	第50回日本整形外科学会 骨・軟部腫瘍学術集会 優秀ポスター賞 (2017.7.14)

クラブ・サークル表彰

ヨット部



**2017年度中部学生ヨット個人
選手権大会スナイブクラス**

3位

(2017.7.2)

医学部バレーボール部



第69回西日本医科学生総合体育大会

女子は2連覇を果たし、男子は創部68年目で初優勝の快挙を成し遂げました。
また同大会で、卓球部女子、陸上競技部女子も優勝を果たしました。

(2017.8.8~20)

優勝

弓道部女子



**第61回東海学生
弓道秋季リーグ 1部**

優勝

(2017.11.12)



**第41回全日本学生
弓道女子王座決定戦**

準優勝

(2017.11.19~20)

附属幼稚園

附属学校の防災備蓄倉庫に備蓄されている食料の試食会を行いました。附属幼稚園では毎月、地震や火災などを想定した様々な形の避難訓練を行っています。今年度は初めての取り組みとして、「もし地震などの災害ですぐに帰宅できない場合、幼稚園で備蓄品を食べる」という場面を想定し、保護者の方に協力していただきながら遊戯室でカレーを試食しました。いつもとは違った雰囲気での食事にドキドキしながら、「美味しいよ!」と笑顔を見せた子どもたちでした。これからも「まさか…」の事態に備えていきたいと思います。



学生表彰

**三重大学環境ISO学生委員会が
環境大臣から平成29年度
環境保全功労者表彰
(地域環境保全功労者表彰)を受賞**
(2017.6.14)



グラドアーケ半蔵門(東京都千代田区)にて平成29年度環境保全功労者表彰式が開催され、環境ISO学生委員会7名と環境ISO推進部門長の梅崎輝尚教授が参加しました。
三重大学環境ISO学生委員会の多年にわたる活動が認められ、平成29年度環境保全功労者表彰(地域環境保全功労者表彰)を受賞しました。表彰式では、「地域環境保全功労者表彰」57件の代表として、環境ISO学生委員会の生駒委員長が、山本公一環境大臣から表彰状を受け取りました。

**工学部 情報工学科のチームが
「国際大学対抗
プログラミングコンテスト」
アジア地区予選に進出**
(2017.7.14)



計算機学会ACMが主催する、2017 ICPC(国際大学対抗プログラミングコンテスト)国内予選で、工学部 情報工学科のチーム "n cat" が、総合27位(参加大学等90校、391チーム)の優秀な成績をおさめました。
メンバーは、熊谷 朋彦(3年)、毛利 真士(3年)、浜中 健太(4年)で、コーチは大山 航 助教です。12月につくば市で開催されるアジア地区予選での活躍が期待されます。

**第9回
地域イノベーション学に関する
国際ワークショップの
論文賞表彰式**
(2017.11.6)



【最優秀論文賞】
地域イノベーション学研究科(博士後期課程)1年
Sasicha Chensom

【優秀論文賞】
工学研究科(博士前期課程)1年 福田 涼
工学研究科(博士後期課程)3年 岡田 俊祐
地域イノベーション学研究科(博士前期課程)2年 福永 雄大
地域イノベーション学研究科(博士後期課程)2年 小田島 春樹
地域イノベーション学研究科(博士後期課程)2年 加藤 宏明
工学研究科(博士後期課程)2年 張 莉

附属学校園から

附属小学校でのプログラミング教育 にドローンを導入しました

三重大学教育学部附属小学校では、ICT(通信技術)教育を充実させるための取り組みの1つとして、プログラミング教育を行っています。
授業以外でも月に一回、4年生から6年生の16名が参加するパソコンクラブの活動で、児童がプログラミングを学んでいます。今回は初めてドローンを導入し、目標の場所まで飛ばすプログラムをチームに分かれて考え、実際にそのプログラムでドローンを飛ばしました。



**電子情報通信学会東海支部
平成28年度学生研究奨励賞**
(2017.6.15)

大学院工学研究科(博士前期課程)2年 前本大輝
(森 香津夫 教授)



**SFEM2017 持続的森林生態系管理に関する
国際シンポジウム ベスト発表賞** (2017.8.30)

大学院生物資源学研究科(博士前期課程)2年
Ebaye Mpiga Saint-Clair
(松村 直人 教授)



**2017年度生物工学会中部支部例会
中部支部 支部長賞 最優秀プレゼンテーション賞**
(2017.9.1)

大学院生物資源学研究科(博士前期課程)2年 青木 奈緒子
(三宅 英雄 助教)



**日本音響学会 2017年春季研究発表会
学生優秀発表賞**
(2017.9.26)

大学院工学研究科(博士前期課程)2年 朝倉 大智
(成瀬 央 教授)



**土壤物理学会
第15回学会賞 優秀ポスター賞**
(2017.10.21)

大学院生物資源学研究科(博士前期課程)1年 奥田 涼太
(渡辺 晋生 教授)



**日本人間工学会東海支部
最優秀奨励賞**
(2017.10.21)

大学院工学研究科(博士前期課程)1年 近藤 伸哉
(池浦 良淳 教授)



**第48回中部化学関係学協会支部連合秋季大会
有機合成化学協会東海支部 優秀賞**
(2017.11.24)

大学院工学研究科(博士前期課程)2年 島田 聖士
(清水 真 教授/八谷 巖 准教授)



公開研究会 「主体的・対話的で深い学びを実現する 授業デザイン」

◎開催日◎ 2018年2月3日(土)
◎応募締め切り◎ 2018年1月29日(月)
詳しくは附属小学校HPまで
<http://www.fuzoku.edu.mie-u.ac.jp/sho/koukai/>



お知らせ

平成29年度 学位記授与式

○日時◎ 平成30年3月26日(月)
○会場◎ 三重大学講堂(三翠ホール)



平成30年度 入学式

○日時◎ 平成30年4月9日(月)
○会場◎ 三重大学講堂(三翠ホール)

市民開放授業

平成30年度生物資源学部特別教育プログラム 受講生募集のお知らせ

農学関連特別プログラム・森林関連特別プログラム・水産関連特別プログラムを開講しています。募集要項や申込方法等詳しくはこちらをご覧ください。
URL http://www.bio.mie-u.ac.jp/PDF/H30-specialprogram.pdf

- プログラム科目◎
●農学関連特別プログラム
(前期コース) 作物学、植物保護学、園芸学、動物生産学、遺伝学、フィールドサイエンスセンター農場実習I
(後期コース) 植物育種学、園芸植物生理学、食用作物学、昆虫学、植物病理学、フィールドサイエンスセンター農場実習III
(1年コース) 作物学、植物保護学、園芸学、動物生産学、遺伝学、植物育種学、園芸植物生理学、食用作物学、昆虫学、植物病理学、フィールドサイエンスセンター農場実習I、フィールドサイエンスセンター農場実習III
●森林関連特別プログラム
(前期コース) 植物学、森林情報学、土壌学、森林流域保全学、森林利用・情報学、森林植物生態学実習
(後期コース) 森林育成学、樹木生理化学、森林利用システム学、治水砂防・森林保全学、森林・緑環境計画学、森林生物学実験
(1年コース) 植物学、森林情報学、土壌学、森林流域保全学、森林利用・情報学、森林育成学、樹木生理化学、森林利用システム学、治水砂防・森林保全学、森林・緑環境計画学、森林植物生態学実習、森林生物学実験
●水産関連特別プログラム
(前期コース) 水産学総論、水族病理学、水族繁殖学、魚類学、底生生物学、海洋植物学実験
(後期コース) 分子生態学、海事概論、水族発生学、藻類学、浮遊生物学、水産生物学実習
(1年コース) 水産学総論、水族病理学、水族繁殖学、魚類学、底生生物学、海洋植物学実験、分子生態学、海事概論、水族発生学、藻類学、浮遊生物学、水産生物学実習
○開催日◎ 2018年の講義期間
○募集定員◎ 各プログラム若干名
○受講料◎ 入学検定料：9,800円 入学料：28,200円 授業料：1科目9,400円
前期・後期コース各56,400円
1年コース112,800円
○受講資格◎ 学校教育法第90条第1項の規程により大学に入学することができる者で、教授会が当該プログラムを履修するに十分な学力があると認められた者。
○受講申込受付期間◎ 前期コース：平成30年2月13日(火)～2月23日(金)
後期コース：平成30年8月6日(月)～8月20日(月)
(土日祝及び三重大学が定める夏季一斉休業日は受け付けません。)
○問合せ◎ 生物資源学研究科チーム学務担当 / ☎059-231-9631、9633、9735

公開講座・シンポジウムなど

●人文学部 伊賀連携フィールド2017年度後期 市民講座「忍者・忍術学講座:忍者の道具」

○会場◎ ハイピア伊賀3階 コミュニティ情報プラザホール
○受講料・定員◎ 無料(申込不要)・自由参加 ○受講対象者◎ 市民一般
○問合せ◎ 人文学部チーム総務担当 ☎059-231-6991
E-mail : info-hum@ab.mie-u.ac.jp

■戦国の実戦刀と忍者
○講師◎ 川見典久(黒川古文化研究所・研究員)
○日時◎ 平成30年1月6日(土)10:30～12:00

■アナログ忍者ゲームの世界
○講師◎ 吉丸雄哉(人文学部・准教授)
○日時◎ 平成30年2月10日(土)10:30～12:00

■伝承の忍術道具と用法
○講師◎ 川上仁一(三重大学社会連携特任教授)
○日時◎ 平成30年3月10日(土)10:30～12:00

●「?」[発見塾](はてなはっけんじゅく)

○受講料・定員◎ 無料(申込不要)・自由参加 ○受講対象者◎ 市民一般
○問合せ◎ 三重大学附属図書館 ☎059-231-9032
E-mail : lib-kikaku@ab.mie-u.ac.jp
URL http://www.mie-u.ac.jp/hakugaku/hakken/

■YUBAメソッド:カラオケ達人への道 ~歌謡ショー&オープンレッスン~
○講師◎ 弓場 徹(教育学部・教授)、小畑真梨子(教育学部・講師)
○日時◎ 平成30年1月20日(土)13:30～15:00
○会場◎ 一志農村環境改善センター

■忍者も行ってた集中と休息の切り替え 一効果的なリラックス法~
○講師◎ 小森照久(医学系研究科・教授)
○日時◎ 平成30年3月24日(土)13:30～15:00
○会場◎ 三重県生涯学習センター

●第16回三重大学発産学官連携セミナーin伊賀 一伊賀研究拠点発共同研究の進展に向けて

○日時◎ 平成30年1月26日(金)13:30～(受付13:00～)
○会場◎ ヒルホテル サンピア伊賀4階 白鳳の間(伊賀市西明寺2756-104)
○参加費◎ 無料(交流会は3,000円)・要申込 ○受講対象者◎ 市民一般
○申込方法◎ FAXまたはE-mail ○申込期間◎ 平成30年1月19日(金)迄
○申込み・問合せ◎ 三重大学 伊賀サテライト 伊賀研究拠点
☎0595-41-1071 / FAX 0595-41-1062
E-mail : iga-kyoten@crc.mie-u.ac.jp
URL http://www.rscn.mie-u.ac.jp/iga/
※詳細については上記URLをご確認ください。

●第47回三重大学歴史研究会大会 2017年度講演会 歴史遺産の発掘と活用 一三重県南部地域の事例から一

○日時◎ 平成30年1月27日(土)9:30～16:40(受付8:30～、開会9:15)
○会場◎ 地域イノベーション研究開発拠点 C棟3階 地域イノベーションホール
○参加費◎ 資料代300円(会員無料)・自由参加 ○受講対象者◎ 研究会会員、市民一般
○問合せ◎ 三重大学教育学部歴史学研究室内 担当：藤田
☎059-231-9218 E-mail : tafujita@edu.mie-u.ne.jp

【大会日程】
■学生会報告 「三重大学学芸学部創立の役割」 ○日時◎ 9:30～11:30
■講演 ○日時◎ 13:00～16:40(含討論) ※演題については変更する場合があります。
「東紀州での発見と出会い」 ○講師◎ 藤田達生(教育学部・教授)
「東紀州の活性化のために」 ○講師◎ 磯野 巧(教育学部・講師)
「熊野地域の石造物」 ○講師◎ 伊藤裕偉(三重県教育委員会・考古学)
「紀伊半島を訪ねて一鳥羽・熊野での取材から一」
○講師◎ 安部龍太郎(直木賞作家、地域イノベーション推進機構社会連携特任教授)

●第31回三重大学教育学部附属特別支援学校公開研究会 意欲を育てる授業づくり ～子どもの主体的な「自立と社会参加」を促すために～

○日時◎ 平成30年2月10日(土)9:10～16:35(受付8:30～)
○会場◎ 三重大学教育学部附属特別支援学校(津市観音寺町484)
○参加費◎ 2000円(学生1000円)・要申込
○受講対象者◎ 県内外の教職員、教育関係者、学生等
○申込方法◎ 学校HPの「公開研究会2次案内」に掲載後、2月2日(金)迄の予定
○問合せ◎ 三重大学教育学部附属特別支援学校 担当：今村
☎059-226-5193 E-mail : tokushi@fuzoku.edu.mie-u.ac.jp
学校HP : http://www.fuzoku.edu.mie-u.ac.jp/tokushi/
※詳細等は学校HPの「公開研究会2次案内」をご参照ください。

○内容◎ 公開授業、全体会、分科会、対談、
■講演会「アクティブ・ラーニング」の視点と特別支援教育
○講師◎ 丹野哲也(文部科学省初等中等教育局視学官(併)特別支援教育調査官)

●第21回三重大サイエンスカフェ

○講師◎ 橋本 篤(生物資源学研究科・教授)
○日時◎ 平成30年3月6日(火)15:00～17:00(開場14:30)
○会場◎ 津駅前 伊勢門本店[EBIIRO] ソニアビル1F
○受講料・定員◎ 500円ドリンク付(要申込)・先着40席限定(定員になり次第締切)
○受講対象者◎ 市民一般 ○申込方法◎ FAXまたはE-mail
○問合せ◎ 地域イノベーション推進機構(研究推進チーム)
☎059-231-9704 / FAX 059-231-9705
E-mail : ken-sokatu@ab.mie-u.ac.jp
※講演者は事情により変更する場合がありますのでご了承ください。

催し物

●卒展2018 三重大学教育学部美術教育コース 卒業制作展

○日時◎ 平成30年2月14日(水)～2月18日(日)9:30～17:00(最終日のみ15:30まで)
○会場◎ 三重県立美術館1階 県民ギャラリー ○入場料◎ 無料 ○対象者◎ 市民一般
○問合せ◎ E-mail : mie.sotsuten@gmail.com
URL http://mie-sotsuten.jimdo.com/

●第7回 MAE展 三重大学教育学部美術教育在学生OBOGによる展覧会

○日時◎ 平成30年3月2日(金)～4日(日)9:30～16:30(最終日のみ15:00終了)
○会場◎ 三重県総合文化センター ○入場料◎ 無料 ○対象者◎ 市民一般
○問合せ◎ 三重大学教育学部美術教育コース
第7回 MIE ART EDUCATION展 実行委員会
E-mail : mae62_mie_art_education@yahoo.co.jp
URL http://maeten.tumblr.com/

看護師・助産師 募集

医学部附属病院では看護師・助産師の募集を随時行っています。大学病院で働いてみたい、病院を見て色々と知りたいたいと思われた方は、お気軽に連絡ください。あなたの笑顔をお待ちしています。

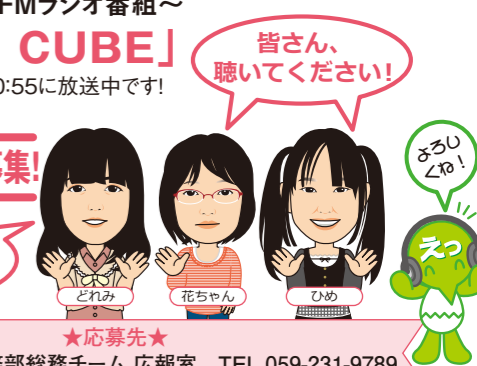
Illustration of medical staff with text: 「いっしょに働こう!」
【お問い合わせは】
三重大学医学部附属病院看護部
☎059-231-5183 又は ☎059-231-5184

F M 三重で放送中!!

●～学生の企画するFMラジオ番組～
「Campus CUBE」
毎週金曜日20:30～20:55に放送中です!

パーソナリティー募集!

対象は三重大学生です!
ぜひご応募ください!



★応募先★
三重大企画総務部総務チーム 広報室 TEL 059-231-9789

メールマガジンのご案内

三重大学では、地域の皆様への情報発信の一環として、メールマガジンを配信しています(発行:毎月1回)。各種イベント、教育・研究活動上のトピックスなど、「三重大」に関する情報を広く学外へ紹介しています。多くの方々からのご意見・ご提言もいただきながら、地域とともに発展していきたいと考えています。

皆様のご登録を心からお待ちしています。

配信お申込み方法
次の事項をご記入の上、下記メールアドレスまでメールをお送りください。
1.メールのタイトルは「メールマガジン希望」と記入してください。
2.メールの本文に、以下の事項を添えてください。
① 配信先メールアドレス ② 氏名
koho.m-maga@ab.mie-u.ac.jp
できる限りパソコンのメールアドレスをご登録ください。携帯電話の場合、受信文字数の関係上、内容を一部省略させていただくことになります。

三重大学公式SNS (Facebook, Twitter)を始めました!

Facebook: 三重大学ホームページからアイコンをクリック!
Twitter: 「@MieUniversity」で検索!
YouTube: YouTubeサイト内で「mieuniversityweb」と検索!

編集後記 vol.10

春になると、正門から教育学部に向かう桜の木の下に、一列に並んで水仙が咲きます。これは私の大好きな三重大学の景色です。水仙を植えた人たちのこと、花の愛らしさとたくましさを感じながら、今から春を心待ちにしています。(ささゆり)



最近、運動不足解消のためホットヨガに通い始めました。2018年の目標は「継続」です！年末年始、おせちもお餅ももりもり食べる予定ですが、次号のえっくす発行の頃には引き締まった体になっているよう、頑張りたいと思います。(Mary)



今回は学生さんにインタビューし、なつかしい気持ちになったり、元気をもらったりでした。寒い季節は、家族や友達とおいしいものを食べて元気に乗り切りたいです！皆様も手洗いうがい、防寒対策をお忘れなく、素敵な冬をお過ごしください！(むら)



好評掲載！「特集-私はこうして三重大へ入学した」第二弾です。受験生の皆さん、目標に向かって頑張ってください。先輩からの励ましの言葉をお届けします。来たれ！三重大へ！入学式でお会いしましょう！(ともぞー)



今号から、3年間務めた「えっくす編集長」の役割を後輩職員に引継ぎ、嬉しい半分、寂しい半分の気持ちで共同研究特集を作成しました。地元企業と研究者の熱意が皆様に伝わればと思います。今後の益々の「えっくす」の内容充実にご期待ください！(sumi)



今年度よりえっくす冬号は12月発行となり、仕事が1ヶ月早いために年賀状作成もクリスマスもお正月も発行より前というの何か違和感を覚えます。仕事のスケジュールも恒例行事の一つなんだとしみじみ感じました。(nico)



いつもご愛読ありがとうございます！
私たちの仲間を紹介するよ！

最近、料理に凝りはじめた私は、ふっくらした厚焼きの卵焼きをよく作ります。コツは、ダマが無くなるまで卵をよくかき混ぜることです。そんな卵焼きを、お正月のお節料理の一品として家族にふるまいたいです。(rosa)



今回初めてえっくすの作成に携わりました。学生さんへのインタビューで大学生活のお話を聞いてみると、少し前のことですが大学生活が懐かしくなりました。写真はいとこが最近飼った犬です。見ているだけで癒されます！(AK)



今回、学生さんとのインタビューがあるという事で、緊張しながら、約束の場所に伺いましたが、お会いしてみると、はっきりとした口調で回答していただき、バワ-ももらって帰ることができました。朝晩めっきり涼しくなりましたが、体調管理に気を付け、この冬をのりきりたいです。(北の大地)



▶ 榑田川



▶ 深野

伊勢本街道 飯南〜玉城



大和から伊勢神宮に向かう伊勢本街道は、津市美杉町内から難所の櫃坂峠を越え、松阪市飯南町内に入ります。上仁柿、下仁柿と続く谷筋の穏やかな家並に、峠越えの旅人たちは、さぞかし安堵したことでしょう。

街道が榑田川に出会うと、飯南の中心地横野です。ここからしばらくは左岸に伊勢本街道と和歌山街道が重なっています。このあたりは香肌峡県立自然公園。榑田川の溪谷の景観が楽しめます。

横野、深野と続く家並みが途切れると、大石の不動院。弘法大師作と伝わる不動明王が本尊で、本堂からは旅人が疲れをいやすにふさわしい眺望が開けています。

この先、松阪に向かう和歌山街道と別れ、右手の山間を進みます。再び榑田川に出会うとそこは、津留の渡しです。この経路では、津留と宮川の二箇所を舟で渡ります。

道標や常夜灯の多い街道ですが、一際大きな四足田の常夜灯があると、間もなく相可の町並です。このあたりからは、伊勢神宮近くと同様の妻入りの人家が増え、神宮が近くなってきたことが実感されます。

参宮線を越えて山裾の道を進むと、やがて前方に田丸城の城山が見えてきます。北畠、織田、紀州藩と継承されてきた城は、見事な石垣を残しています。位置は少し動いていますが、紀州街道と刻まれた道標に出会うと、熊野への街道が分かります。参宮の後、田丸から熊野に足を向けた人々も少なくありませんでした。ここから東を向いて歩くと、小一時間で宮川。渡れば外宮までは、あと一息です。



▶ 大石不動院

三重大学大学院工学研究科 教授 菅原洋一



▶ 四足田の常夜灯



▶ 相可の妻入り町家



▶ 田丸城

アンケートに答えて…

三重大大学オリジナルグッズをもらおう!!

「三重大X」をよりよくするために、ぜひアンケートにご協力をお願いします。平成30年3月31日(土)(当日消印有効)までにアンケートにお答えいただいた方の中から、抽選で5名に「三重大大学ブランド商品詰め合わせ(三重大大学カレー2箱、学長せんべい1箱、チェンミ・コーヒー1箱、三重大大学オリジナルバッグ1個)」を、30名に「オリジナル文具セット(付箋1個、蛍光マーカー(3本入)1個)」をお送りします。どしどしお寄せください。
*当選者の発表は、賞品の発送をもってかえさせていただきます。

→「三重大大学ブランド商品詰め合わせ」、「オリジナル文具セット」をご希望の方は、巻末の綴じ込みはがきにご感想等必要事項をご記入の上ご投函ください。

三重大大学ブランド商品詰め合わせ

抽選で5名様

オリジナル文具セット

抽選で30名様

「教養」は生きるチカラ。

放送大学4月入学生募集中!

第1回募集

平成29年12月1日(金)

～平成30年2月28日(水)

第2回募集

平成30年3月1日(木)

～平成30年3月20日(火)

- ・ テレビ、ラジオ、パソコン、スマホで学べます。
- ・ 1科目から学べます。入学試験はありません。(大学院全生を除く)
- ・ 生涯学習のほか、キャリアアップ(現職教員・看護師)や資格取得など目的に応じた学び方ができます。

インターネットで資料請求・出願ができます!

放送大学 www.ouj.ac.jp 資料請求専用フリーダイヤル ☎ 0120-864-600

放送大学 三重学習センター 〒514-0061 津市一身田上津部田1234 (三重県総合文化センター内) TEL 059-233-1170

ええじゃないか。

おかげ旅行社 ええ旅ツアー

堀口文宏(あさりど)と萩美香が「おかげ旅行社」ツアープランナーとなって、シーズンや行事などを吟味したベストタイミングの「ええ旅プラン」をプロデュース!

毎週月曜日 19:00 ~ 19:55 ※土曜昼 12:00 ~ 再放送

三重テレビの県内ニュースをLINEで配信中!

LINE NEWS内「三重テレビNEWS」を友だち追加すると、定期的にニュース配信受信が可能に!! 三重県の「今」が身近にわかる! 情報は毎週月・水・金曜日の正午、8記事をダイジェスト形式で配信。

登録方法: 右下のQRコードを読み取る または LINEアプリ起動後公式アカウントで検索 → 友だち追加

MTV 三重テレビ放送

● 本誌お問い合わせ先 ●

● 広告掲載のご依頼 ●

三重大大学企画総務部総務チーム広報室

〒514-8507 津市栗真町屋町1577

TEL 059-231-9789 / FAX 059-231-9000

ホームページ <http://www.mie-u.ac.jp/>

E-mail koho@ab.mie-u.ac.jp

三重大 X [えっくす] vol.39

平成29年12月発行

● 発行 / 三重大大学広報委員会

● 編集 / 三重大大学企画総務部総務チーム広報室

● 印刷 / 有限会社アートピア artopia@zvtv.ne.jp

◎ 禁無断転載 本誌掲載の文章・記事・写真等の無断転載はお断りします。

*ご意見をお寄せください。

入試情報


平成30年度 三重大学 個別学力検査

人文 学部 教育 学部 医学部 工学部 生物資源 学部

本学の一般入試は、学部・学科・課程等の入学定員を分割し、「前期日程」及び「後期日程」により入学者を募集する「分離分割方式」で実施します。

実施日程		
	前期日程	後期日程
出願期間 (郵送に限ります)	平成30年 1月22日(月)～1月31日(水) (必着)	
個別学力検査等の日程	平成30年 2月25日(日) (医学部は2月26日(月)も実施)	平成30年 3月12日(月)
合格者発表	平成30年 3月7日(水) 午前10時頃	平成30年 3月22日(木) 午前10時頃

- 「三重大学学生募集要項(一般入試)」は、本学学務部入試チーム又は本学HPより入手できます。
- 「三重大学学生募集要項(一般入試)」の請求方法など入学試験に関することは、本学ホームページ <http://www.mie-u.ac.jp/exam/> 「入試情報」をご覧ください。
(TEL.059-231-9063 (学務部入試チーム))

携帯電話サイト
 ←QRコード
 ※対応する携帯電話で読み取ることができます。
 募集要項等の請求方法、志願状況速報などの各種情報を携帯電話にて閲覧することができます。

平成30年度大学入試センター試験 平成30年 1月13日(日)・1月14日(日)

生物資源学部 大阪で受験

出願期間(郵送に限る)
平成30年 1月22日(月)～1月31日(水) (必着)

「三重大学振興基金」ご協力をお願い

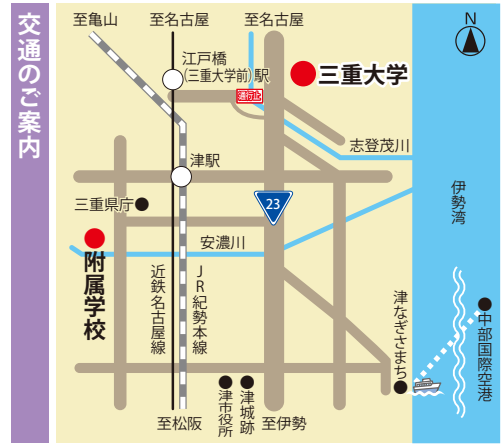
学資援助事業、学内施設の整備事業

三重大学振興基金は、皆様からの『ご寄附』を基金としてお預かりし、地域からの期待に応える大学に成長・発展を遂げるために必要な、学生の教育活動に対する支援や教育研究の充実及び教育研究環境の整備等に必要の支援を行っています。皆様の温かいご支援・ご協力をお願いします。

- **三重大学振興基金の各事業**
 1. 「全学プロジェクト」
 - ① 三重大学振興基金事業
奨学金(三重大学修学支援事業を除く)、国際交流、地域貢献等をもって教育・学術の振興に資する事を目的して大学全体で幅広く活用する事業
 - ② 三重大学修学支援事業
経済的理由により修学が困難な学生に対する支援「限定した特定事業」※1
 - ③ 地域活性化活動支援事業
地域と連携し地域活性化(人材育成、地域教育研究)を目指した教育研究活動の支援
 2. 「学部・研究科(大学院)等プロジェクト」
各学部・研究科等に限定した支援事業を行っています。
- **税法上の優遇処置**
個人の方は所得控除が受けられます。※1は税額控除対象事業です。
法人の方は、総金額を損金として算入できます。
- **ご寄附の方法**
 - ① クレジット・コンビニ・pay-easy(ホームページからお申し込みください。)
 - ② ゆうちょ銀行・郵便局・銀行の窓口からのお振込み(本学振込専用紙は、郵送させていただきますので三重大学振興基金事務局までご連絡ください。)
 - ③ 遺贈等
 - ④ 事務局窓口での受付
- **お問合わせ先**
三重大学振興基金事務局【企画総務部総務チーム内】
〒514-8507 津市栗真町屋町1577
TEL: 059-231-9005 FAX: 059-231-9000 E-mail: kikin@ab.mie-u.ac.jp



ホームページをご覧ください **三重大学振興基金** **検索**



- 交通のご案内
- 江戸橋(三重大学前)駅から徒歩約15分
 - 津駅から
 1. 津駅東口バスのりば「4番」から三重交通バスで「白塚駅」(06系統)、「千里駅」(40系統)、「三重病院」(51系統)、「棕本(むくもと)」(52系統)、「豊里ネオポリス」(52系統)、「サイエンスシティ」(52系統)、「三行(みゆき)」(53系統)、「高田高校前」(56系統)行きで、「三重大学前」下車。(附属病院、医学部、工学部へは「大学病院前」下車)
 2. タクシーで約10分
 - 中部国際空港(セントレア)から
津エアポートライン(船)で津なぎさまちへ40分
 1. 「津なぎさまち」から三交バスで「津駅前」まで約15分
 2. 津なぎさまちからタクシーで三重大学まで約15分

三重大学

〒514-8507 三重県津市栗真町屋町1577
TEL059-232-1211(代)
<http://www.mie-u.ac.jp/>

